

中部大学幸友会 会報2009

幸友

特集 Special Feature

スペシャル座談会

産業活動と 持続可能な社会

シーズ紹介

研究室訪問

会員企業紹介

幸友会会員企業を訪ねて

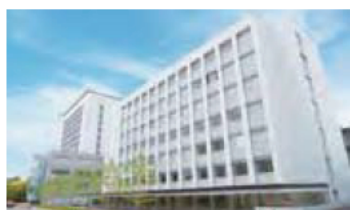
VOL.12

CHUBU UNIVERSITY CAMPUS NEWS

国際関係学部に 中国語中国関係学科が 誕生しました。

2009年度から国際関係学部中国語中国関係学科がスタートしました。近年めざましい経済発展を遂げており、日本との関係がますます緊密化している中国に、さまざまな側面からアプローチする新しい学科です。学科生全員が卒業までに実践的な中国語を使えるようになることをめざす語学教育、中国社会に体当たりする短期研修制度などを通して、中国という国を理解し、日中間の新たな懸け橋となる人材を育成します。

新校舎・新施設、次々オープン。



完成した55号館

55号館完成

50号館・51号館の東隣に、55号館がオープンしました。来年よりスタートする生命健康科学部理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科の学びの舞台となる新校舎で、地上7階建、建築面積377.5坪。各学科の専門施設のほか、チーム医療を体験できる生命健康科学部全学科合同の実習施設を備えています。



図書館完成予定図

図書館増築中

幸友会より2007年に増築資金として1億円を贈呈した附属三浦記念図書館の工事が、順調に進んでいます。現在は第2期増築工事の最中。地下に書庫を配し、地上階に閲覧室を増設するほか、視聴覚コーナーも従来以上に充実させる予定で、その完成が待たれています。



72号館完成予定図

72号館新築工事進行中

今年2月に起工式がおこなわれ、現在建築中の72号館は、新学部・学科増設に伴い、建築中の新校舎です。2階から4階には114人収容の講義室が4室、279人収容の講義室1室のほか、ゼミ室や情報系教育演習室が配置されます。現在、来年春の竣工をめざして工事が進められています。



01 ニュース

CAMPUS NEWS

02 メッセージ

ごあいさつ

03 トピックス

**生命健康科学部に
現代医療の課題に取り組む
3学科が誕生します。**

05 特集

スペシャル座談会

産業活動と持続可能な社会

敷島製パン株式会社 生産技術部長	鈴木寿雄氏
パナソニック エコシステムズ株式会社 取締役	山根茂樹氏
中部大学 中部高等学術研究所 教授	野口忠
中部大学幸友会 事務局長、中部大学 学監	三浦昌夫
中部大学 経営情報学部長	小野桂之介

13 研究報告

中部大学「ESD事業」経過報告

15 レポート

幸友会講座、スタート。

17 シーズ紹介

研究室訪問

中部大学 総合工学研究所長 教授	稲崎一郎
中部大学 工学部建築学科 教授	豊田洋一
中部大学 工学部応用化学科 教授	今枝健一
中部大学 応用生物学部応用生物化学科 教授	小林猛
中部大学 応用生物学部食品栄養科学科 教授	高村基治
中部大学 生命健康科学部生命医科学科 教授	小久保正

23 暮らしのエッセイ

町角をゆくコロコロ

フリーライター 岡本信也

25 インタビュー

企業人の格言

福玉精緻倉庫株式会社 代表取締役会長 社本宮明氏
丸丹スポーツ用品株式会社 代表取締役 辻本昌孝氏

27 本棚から社会を見る

「自己啓発本」流行りの現代を斬る。

中部大学 人文学部コミュニケーション学科 教授 井上輝夫

30 会員企業紹介

幸友会会員企業を訪ねて

株式会社川本製作所 玉川充さん
株式会社トーエネック 森弘幸さん
東春信用金庫 大坪勝智さん

33 就職レポート2009

**確かな人材育成のために、
採用活動の早期化に歯止めを。**

35 総会報告

第21期中部大学幸友会総会報告

37 総会講演ダイジェスト

**最近のエネルギー動向と
バイオエタノールをめぐる国際情勢**

株式会社UDEEX コンサルティング代表取締役
元エッソ石油株式会社 代表取締役・常務 西尾直毅氏

39 講演報告

企業経営講演会

株式会社新梓堂 代表取締役	田口和寿氏
経営コンサルタント(元本田技研工業株式会社 代表取締役専務)	下島啓亨氏
株式会社生方製作所 代表取締役会長	生方眞哉氏

41 寄稿

メンバーズサロン

43 イベントレポート

中部大学フェア

45 お知らせ

イベントインフォメーション

学園創立70周年を迎え、
総合大学としての役割を再確認。



中部大学幸友会 名誉会長
学校法人中部大学 理事長

大西 良三

おおにし りょうぞう

昭和13年に創立した学校法人中部大学は、今年で70周年の節目を迎えました。これも、幸友会会員の皆様をはじめとする関係各位のご支援、ご協力の賜物と、深く御礼申し上げます。また今年、中部大学は国際関係学部にも中国語中国関係学科を設立し、7学部24学科体制で新たなスタートを切りました。これらの学部学科は、大学院、研究所とともに春日井キャンパスの広大な敷地に集結し、それぞれの壁を越えて連携して、総合大学の特色を生かした研究に邁進しております。幸友会会員の皆様をはじめとする企業との交流も、中部大学フェアなどの機会や、研究支援センターを介して年々増加しており、着実な成果をあげています。今後も産学官連携事業を促進し、中部大学の有する知的資産を地域の皆様に向けて還元していく所存です。皆様の変わらぬご支援、ご協力を、今後ともお願い申し上げます。

苦難の時代にこそ、
産学官の強固な協力関係を。



中部大学幸友会 会長
春日井商工会議所会頭

清水 勲

しみず いさお

百年に一度の不況といわれるさなか、中部地区を拠点とする私たち企業にも、一歩先を見据えた経営戦略が求められるようになりました。このような時代に、20年余りの歳月をかけて育んできた中部大学と幸友会の絆は大変貴重です。私たち幸友会会員は、いつでも新しい研究シーズに接し、ビジネスのノウハウや商品開発のヒントを見つけることができます。産学官連携の場として、共同研究の橋渡し役として、ぜひ積極的に幸友会を活用していただきたいと存じます。また、巷では企業の採用控えや内定取り消しなど、雇用の問題も大きくなっています。我々企業は、これからの時代を担う若者のために何ができるのか、手を携えて考えていかねばなりません。いまや企業会員800社、個人会員429人となった幸友会のスケールメリットを生かして、地域の隆盛に努めてまいりましょう。

生命健康科学部に 現代医療の課題に取り組む 3学科が誕生します。



”健康”と”予防”を推進する 医療専門職を養成。

現在、日本の国民医療費は年間30兆円超。20年後には80兆円に上ると予測されており、いまや健康の問題は国の将来をも左右する問題になっています。同時に、新型インフルエンザの流行や生活習慣病の増加に象徴されるように、多くの人が日常的に健康への不安を抱えています。特に、「まだ症状はないが、将来に大きな不安を感じる」という前病段階の人が多くとされ、その分野へのアプローチが期待されています。このような状況を背景に、中部大学の生命健康科学部は誕生しました。めざすは、「健康」と「予防」に精通する医学のプロフェッショナルの育成。2006年には、社会や企業で予防や健康を推進できる専門家を養成する生命医科学科、地域社会と連携して医療に貢献できる看護師・保健師を養成する保健看護学科の2学科を開設しました。そして2010年、リハビリテーションと臨床工学の分野に取り組む3学科がスタートします。新5学科体制で現代医療を広くカバーし、日本の健康問題に取り組む生命健康科学部に期待ください。

生命健康科学部 新学科のキーワード

1. 予防の視点

医学と生命科学の基礎がしっかり学べるカリキュラムを編成。疾病や障害を予防する視点を備えた医療人を育てます。

2. チーム医療

5学科共通の講義や演習を多く配置。自分以外の医療スタッフの役割を理解し、連携して問題解決を図る力を養います。

3. 技術開発

工学部と密接に連携した教育をおこなうことにより、医用技術や医療機器の開発・応用にも貢献できる人材を育成します。

4. 人間理解

文系理系を包含する7学部がワンキャンパスに集まるメリットを生かし、幅広い学識と多面的な人間理解能力の獲得をめざします。

新校舎で育む、 チーム医療に必要なベース。

新3学科の学びの舞台は、地上7階建ての新校舎55号館。理学療法、作業療法、臨床工学それぞれの目的に合わせた個別の実習室や、どの学科の実習にも対応できる大型の共用実習室を配備しています。講義室では、専門科目はもちろん学部共通科目の授業や合同講義がおこなわれ、医療知識の共有がはかれる予定です。ひとつの校舎で、将来医療のさまざまな分野を担う学生がともに学ぶことは、お互いの役割の理解につながり、実際に現場でチーム医療をおこなう際のベースとなることでしょう。

現代社会のニーズに対応できる真のプロフェッショナルを育成します。

理学療法学科

理学療法学科では、医学的な知識と技術を携えて、患者の運動機能の回復をめざす理学療法士の育成をめざします。病院や在宅でのリハビリテーションはもちろん、現代社会が生み出した新しい疾患への対応や予防の分野にも取り組み、健康増進活動、地域の福祉活動、障害者支援、スポーツ選手の健康管理などに貢献できる力を養います。同時に、理学療法の新しい技術を研究・開発できる高度な能力も磨いていきます。

作業療法学科

作業療法学科では、身体や精神に障害がある人の動作能力や社会適応力の回復をはかる作業療法士の育成をめざします。急増する精神障害、支援ニーズが高まる児童の発達障害、病気や事故による高次脳機能障害を理解し、心身機能、活動、社会参加などの幅広い分野にわたって患者をサポートしていきます。特に、超高齢社会の到来によりニーズが高まる認知症に対しては、発症や悪化の予防にも取り組んでいきます。

臨床工学科

臨床工学科では、生命維持や治療に必要な医療機器の操作と保守点検にあたる臨床工学技士の育成をめざします。併設する技術医療専門学校で培った経験と実績を継承しており、新学科でありながら臨床工学技士の養成課程として充実している点特徴です。日々進化する医療の現場で最先端の医療機器に対応できるエンジニアとして、工学と生命医学の基礎から、医用技術・医用工学など専門的な知識までを身につけていきます。



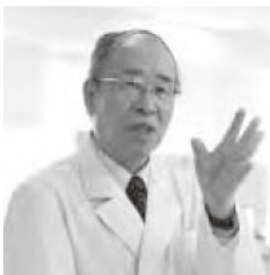
Message

総合大学で養成する、新しい役割を担うスペシャリスト。

高齢化が加速する日本で、リハビリテーションや介護に従事する人材の育成が急がれています。一方、医療技術の進歩によって、より専門的な知識と技術を持って医療機器を扱う人材も求められるようになりました。これら社会のニーズを受けて誕生するのが、中部大学生命健康科学部の新3学科です。

新学科とはいえ、この3学科は中部大学技術医療専門学校の理学療法学科と臨床工学技士の育成に十分な土壌を既に備えています。さらに、中部大学の伝統ある工学部からは高度な工学の知識と技術を、文科系の学部からは多彩な教養を吸収することができます。また、さまざまな分野の医療人をめざす学生とともにひとつの

キャンパスで学ぶことは、将来それぞれの役割を理解し、協力し合う姿勢を育むことでしょう。これらは、専門学校や単科大学では得ることのできない総合大学ならではのメリットです。生命健康科学部で“健康”“予防”分野へのアプローチを学んだ理学療法士、作業療法士、臨床工学技士は、医療の現場で社会のニーズにいち早く応え、新しい役割を開拓していくことでしょう。それこそが、中部大学がめざす新しいスペシャリストの姿なのです。



生命健康科学部 学部長

伊藤康彦 教授
いとう やすひこ

特集

CHUBU UNIVERSITY KOYUKAI
DISCUSSION 2009

スペシャル座談会

産業活動と 持続可能な社会

地球温暖化などの深刻な環境問題は、21世紀に生きる私たちにとって大きな課題です。今、次世代の利益をできるだけ損なわずに発展していくという持続可能な社会の実現が、世界に求められています。そこで今回は、企業活動を通して環境問題に取り組む幸友会会員企業をお招きし、さまざまな形で研究・教育活動が進行する中部大学と、産学連携の可能性を検討していただきました。



2009年9月3日 名古屋東急ホテルにて

座談会参加メンバー

中部大学
中部高等学術研究所 教授
野口 忠
のぐち ただし

中部大学幸友会 事務局長
中部大学 学監
三浦 昌夫
みうら まさお

【司会】
中部大学
経営情報学部長

小野 桂之介
おの けいのすけ

中部大学幸友会会員企業
敷島製パン株式会社
生産技術部長

鈴木 寿雄氏
すずき ひさお

中部大学幸友会会員企業
パナソニックエコシステムズ株式会社
取締役

山根 茂樹氏
やまね しげき



第1章

環境への貢献を めざした 企業の取り組み

小野 私たち人間は、文明を進化させていく過程で、地球に大きな負荷をかけてきました。公害や資源の枯渇が問題視されたことをきっかけに、社会の発展に限界が論じられるようになりましたが、大多数の人が問題意識を持ちはじめたのは、ごく最近のことではないでしょうか。これからの時代は環境に配慮し、長期的な視野に立つて成長・発展に取り組んでいかななくてはなりません。そのために企業と大学は何ができるのかを、本日は考えてまいりましょう。まずは今回の基調として、持続可能な発展の必要性について、中部大学の野口先生からお話しいたします。

野口 今、地球には土地、水、鉱物、生物資源、食糧、医療など、多くの問題があります。それらは、人口の増加に起因すると言っても過言ではありません。第二次世界大戦終

結後、衛生状態や医療技術、食糧事情が改善されて、人間の平均寿命は飛躍的に伸びました。それに伴って、世界の総生産量は1950年から2000年までの間で50倍に増加しました。その過程で公害という問題が生まれたのです。1962年に発行されたレイチェル・カーソンの「沈黙の春」をきっかけに、環境問題が認識されるようになりました。持続可能性という概念が提示されたのは、1980年代のことです。ご存じのように、CO₂排出が原因とされる地球温暖化の問題は深刻です。今年、イタリア・ラクリアでおこなわれたサミットでは、2050年までにG8全体で温室効果ガスを現在の80%まで削減するという目標が発表されました。我が国の省エネルギー技術は世界でもトップレベルですが、生産量とエネルギー消費の相関関係から見て、努力にも限界があります。これからは、倫理観の向上や政策による規制などの後押しなしに、持続可能な発展を望むことは難しいでしょう。私たちはこのような状況を認識しながら、将来の選択を

していく必要があります。

小野 多くの問題が相互につながりあって私たちの身の回りに影響を及ぼすようになり、その結果として、さまざまな制約が生まれてきたのですね。それでは、持続可能な社会の実現をめざした企業の取り組みについてお聞きしていきましょう。まずは、自社紹介からお願いします。

鈴木 敷島製パン株式会社は、超熟シリーズなどPascoブランドのパンを皆様の食卓へお届けしています。弊社は、食糧難と物価高騰のなかで起きた米騒動の直後に、人びとを食糧不足の苦しみから救いたいという創業者の思いから誕生しました。私たち社員はその創業の精神を受け継ぎ、安心、安全、信頼を最優先にして、豊かな食生活の実現に向けて日々取り組みんでいます。パンは、小麦や酵母、水、その他さまざまな自然の恵みから生まれまします。小学生の頃を思い出していただくと、給食の時間に「いただき

動植物の命をいただくという感謝の気持ちを大切にしたい。

敷島製パン株式会社
生産技術部長

鈴木 寿雄氏
すずき ひさお

三重大学工学部機械工学科卒業。1978年敷島製パン株式会社刈谷工場設備課勤務。1996年同社子会社バスコアメリカ(オレゴン州ポートランド)を設立し勤務。帰国後、生産技術部生産技術開発マネージャーを経て生産技術部長。

敷島製パン株式会社

1920年創業のパン・和洋菓子の製造・販売会社。Pascoブランドで知られる。オリジナルの湯種製法を採用した食パン「超熟」は、発売10周年を迎える大ヒット商品。

幸友会会員企業



ます」「ごちそうさま」と手を合わせ、唱和した記憶はどなたにもあるのではないでしょうか。私たち人類は、多くの動植物の命をいただくことで生命を維持しています。その一環に関わる企業として、私たちは常に地球環境に目を向けて、エネルギーの節約や廃棄物の削減に取り組んでいます。

山根 パナソニックエコシステムズ株式会社は、パナソニックグループの社内分社として、環境システム事業を担当しており、「人にやさしい環境事業」と「地球にやさしい環境事業」を両立する環境技術立社をめざしています。具体的には、空気と水、土の浄



化事業を念頭に換気扇、空気清浄機、熱交換機などの商品開発、生産、販売をおこなっています。環境活動としては、パナソニックグループでは、お客様にお届けする商品自体で環境に貢献していく「商品のエコアイディア」、生産現場において環境に配慮していく「モノづくりのエコアイディア」、企業人であると同時にひとりの社会人として地球について考える「ひろげるエコアイディア」の「エコアイディア宣言」を実践しており、私どもも積極的に幅広い領域で環境活動に取り組んでいます。

小野 具体的にはどのような取り組みまれているのですか。
鈴木 敷島製パンでは、製品の生産過程におけるロス・ムダ・コストの削減や効率アップをめざす改善活動「TPM（トータル・プロダクティブ・メンテナンス）活動」を全社で展開しています。工場では、安定した製品製造のために、検査室の整備や機械の自動化を進め、不良品の発生を防ぐとともに、生産工程で発生したパンくずは畜産飼料として有効活用もしています。また、原料の梱包材は繰り返し使用できるプラスチック

の「通い箱」に切り替えて、使い捨て段ボールの廃棄量を削減しました。現在、食品リサイクル率は97%、廃棄物全体のリサイクル率は88%です。また、限りある地球の資源を有効活用することが大切であると考え、省エネルギー化にも継続的に取り組んでいます。毎年、省エネ予算を確保し、小型ボイラーへの切り替えおよび台数の制御やエアコンプレッサーのインバータ化及び台数の制御、省エネルギーの冷凍機の導入など、全工場を展開を図っています。

山根 パナソニックエコシステムズが、先ほど申し上げた「商品のエコアイディア」の部分でめざしているのは、業界トップレベルの環境性能の実現です。そのような製品を、私たちは環境配慮型商品と呼んでいます。この環境配慮型商品を開発するためには、製品環境アセスメントの実践が欠かせません。企画・設計・量産の各段階で数値化した



パナソニック エコシステムズ株式会社
取締役

山根 茂樹氏

やまね しげき

慶應義塾大学工学部機械工学科卒業。1976年松下電器産業（現パナソニック株式会社）入社、社内分社松下産業機器株式会社配属。2005年松下エコシステムズ株式会社へ異動。2009年取締役就任（技術・知財・デザイン担当）。

パナソニック エコシステムズ株式会社

パナソニックグループの事業分野のうち「環境システム事業」を担う。グローバルシェアNo.1の換気扇をはじめ、空気清浄機、加湿機、除湿機など「空気・水・土壌」の浄化技術を誇る。

目標を数値で明確化し、 トップレベルの省エネ性能を実現する。



大学とは、持続可能な発展をめざして 研究活動に取り組む場。

中部大学
中部高等学術研究所 教授

野口 忠
のぐち ただし

1967年東京大学大学院農学系研究科農芸化学専門課程博士課程中退。1989年東京大学教授、1996年改組により東京大学大学院農学生命科学研究科教授。2001年より中部大学応用生物学部教授・学部長を兼任。現在、中部大学中部高等学術研究所教授・副所長。

指標を掲げて、製品が環境に与える程度や範囲を予測・評価しながら、開発を進めております。07年時点では新商品における環境配慮型商品の割合を2011年までに90%にすることをめざして活動しておりますが、この製品環境アセスメントの徹底によって、09年時には目標を達成できる見通しです。

三浦 環境配慮型商品では、どのような点で環境に配慮されているのですか。

山根 環境では先ずCO₂の削減をめざしています。そのために消費電力量とCO₂排出量の相関関係を明確に数値化し、その数値に照らし合わせながら省エネルギー性能を

向上した商品の開発を進めています。また、モノづくりのプロセスにおいても、CO₂の削減をはじめ、廃棄物削減、水使用量削減、有機化学物質の不使用方法などに取り組んでいます。当社におけるCO₂発生量の約80%は電力であり、消費電



力を「見える化」することによって課題を把握し、工場の設備導入や環境配慮に役立てています。

2008年度には、サプライヤーと連携した設備機器用冷却ユニット事業での材料ロスを半減する取り組みが評価され、経済産業省の「第1回サプライチェーン省資源化モデル大賞」を受賞しました。

野口 敷島製パンさんは、食育の観点からも活動されているようですが。

鈴木 はい。パンを通じた食育活動を積極的に展開しています。工場見学としてパスコ利根工場、埼玉工場及び神戸工場でPascoのものづく

りに対する姿勢やパンづくりの基本を知っていただくことを目的に、工場見学をおこなっています。ほかにもパンメニュー教室、店頭での試食活動、ホームページでのレシピ紹介等で、健康的で楽しい食生活を応援していますので、ぜひご覧ください。

第2章

企業が直面する さまざまなリスクと ビジネスチャンス

小野 持続可能性は、企業の発展という点だけでなく、国にとって、人類全体にとってはどうか等、多面的に捉えていかななくてはならないテーマです。人類全体で考えていくと、マーケットメカニズム上でクリティカルに効いてくる場合と、それに先行して法律などの規制をかける場合があります。先進国と後進国の間で意識の差があるために、国際会議などで基準を定めるなどのルールづくりをする方法もあります。しかし、このような新しい制約



は、価格競争や原料を確保する上でリスクになると考えられます。そのあたりはいかががでしょう。その問題解決そのものをビジネスチャンスだと捉えることもできますが。

山根 欧州では、化学物質の使用制限などの規制が非常に厳しくなっています。当社としては、新しい基準にいち早く対処して、消費者の方々に安心・安全をお届けすることに徹しています。一方で、そのような規制のない後進国でも私たちは事業を展開しています。しかし、当社の理念として、基準がない国へも低い基準の商品を提供することはできません。当社には、安心・安全で高品質な製品をグローバルに提供する義務があります。グローバルな競争に際して、コストと環境への貢献を両立していくことは、当社にとって非常に高いハードルです。しかし、やりきることが私たちの役割だと思っています。

鈴木 少しテーマはずれるかもしれませんが、エネルギー消費量の問題は避けて通ることができないと感じています。近年、食品メーカー



による製造日改ざんなどの食品偽装問題が世間を騒がせました。弊社では、お客様から一層の信頼を得るために原料の吟味や品質管理を徹底しておりますが、事件の影響で消費者の皆様がデリケートになっていることに対する危機意識を持って生産にあたっています。そのため、温度管理や衛生管理を二重三重に強化することになり、結果としてエネルギー消費量が増大する傾向にあるんです。この問題に関しては、電気使用量の制限を設け、省エネルギー設備を随時採用するなど、企業努力によって対処しています。

野口 たとえば、原料の輸入の面



産業界に大学の研究シーズを よりわかりやすく発信していきたい。

中部大学幸友会 事務局長
中部大学 学監

三浦 昌夫
みうらまさお

早稲田大学第一文学部英文学科卒業。1957年愛知県立瀬戸高校教諭、1978年中部工業大学学長補佐、1984年中部大学学長補佐。現在、中部大学学監。学校法人中部大学理事。春日井小牧コミュニケーションテレビ株式会社放送番組審議委員長、春日井市民第九演奏会会長他を務める。

でもリスクが生まれているのではありませんか。持続可能性の追求が、足かせになるということはありませんか。

鈴木 そうですね。日本の食糧自給率全体が低いこともありすが、なかでも小麦粉の自給率は14%、パンに使える小麦粉は数%に過ぎません。また、小麦畑が、バイオ燃料の原料となるトウモロコシの作付けへ転換されるなどの原因によって、小麦の生産量が減少し、価格が変動しています。これは、私たち製パン業者にとって大きな問題です。まだまだ十分とは言えませんが、米粉や国産小麦の使用拡大を図ることで、弊社も日本の抱える食糧問題に少しでも貢献したいと考えています。

三浦 それはフードマイレージの問題にも関係してきますね。中部大学の学生食堂でもフードマイレージの表示を検討しています。学生諸君にも、持続可能性を考えるきっかけ

を与えたいですからね。企業では、従業員の方々一人ひとりに啓蒙を徹底していらつしやると思います。個人レベルで考えていくことも大切ですが、ただ、お話を伺っていると、これからは個人や企業の努力だけでなく、世界レベルで持続可能な社会づくりに取り組みなくてはいけない。スウェーデンが来ていると感じました。グローバルな社会で、日本が先進国として他の国々を率いていくためには、行政のリードも必要になってくると思います。

第3章

大学の研究成果へ 産学連携活動へ つなげるために

小野 研究・教育分野では、持続可能な発展をどのように追求しているのでしょうか。次は、中部大学の取り組みをご紹介します。

野口 大学とは、基本的には持続可能な発展のために研究活動をおこなう場であると思います。た

たとえば工学は、人間社会を持続的に発展させていくための技術だと考えられます。そういう意味でも、工学系の大学としてスタートした中部大学では、持続可能な発展に直結する研究が非常に数多く進行していると言えます。その代表的な例としては、高温超電導による直流送電システムの開発が挙げられます。これは、摂氏マイナス200℃程度の液体窒素によって超伝導の状態をつくりだし、電気抵抗による送電時のロスを抑えるというもので、学内に建設した20メートルのシステムでは既に成功を収めています。また、応用生物学部を有する本学では、生物学的な側面での取り組みも目立ちます。岐阜県恵那市にある、東濃地方の自然の宝庫とも言える恵那キャンパスでは、生態系の調査が進められています。さらに、本学の拠点である春日井キャンパスの一部は、愛知県「あいち森と緑づくりモデル事業地」に選定されました。現在、里山の姿を再生しようと整備中です。春日井キャンパスには、水田や畑地もあり、化学肥料を使わない

無農薬米の栽培などをしてい
ます。今年も近隣の子どもたちを招
いて、米の生産を体験する機会を
設けることができました。本学で
は、このような食の生産現場はも
ちろん、食品が食卓に上るまでの



食品の加工・製造システムを完備した、中部大学の食品プラント。

多くの課題に取り組んでいます。
本学の「食品プラント」は、日本で
は他に例のない、食品の衛生管理シ
ステムの国際基準に準拠したテス
トプラントです。ここではさまざま
な食品のモデル製造をおこない、お
いしく安全な食品について研究し
ています。

三浦 中部大学は2007年、名
古屋大学、三重大学、岐阜大学等
とともに、中部ESD拠点として
認定されました。ESDとは、
Education for Sustainable
Developmentの略で、持続可能な
発展のための教育を意味します。
ESDの研究成果を市民の生活に
も活用していただけるように広く
公開していく努力は、大学の使命
として欠かせません。そこで中部
大学では、野口先生からご紹介し
ました本学の研究活動を目で見
て、肌で感じる博物館として公開
する「キャンパス・エコミュージアム・プ
ロジェクト」を計画しています。来
年の早い時期に、第1回目のキャン
パス・エコミュージアムツアーを実行
できるように整備中です。

小野 今挙げられたような大学

の取り組みと企業の
取り組みの両方がリ
ンクする場も必要で
すね。企業サイドか
ら中部大学に、こんな
研究やあんな教育を
してほしいというご要
望はありますか。

鈴木 大学とのつな
がりという点で申し
上げますと、弊社に

は、社員を豊田工業大学へ社会人
学生として派遣するシステムがあ
ります。研究生として、パンを焼く
時の熱物性や熱伝導に関する研究
分野で、2年間お世話になっていま
す。中部大学には、応用生物学部
に食品栄養科学科があるとお聞
きました。食を専門に学ばれて
いる研究室と一緒に、新しい商品の
開発などに取り組んでいただけら
いですね。

野口 先ほどご紹介しました食品
プラントでは、食品アレルギーの観
点から、500種類もの低アレル
ギークッキーを試作するなど、実験
と評価を重ねています。お役に立
てることがあるかもしれませんの



持続可能な社会を支える人材を 産学で育成することが今後の課題。

【司会】中部大学
経営情報学部長

小野 桂之介

おの けいのすけ

慶應義塾大学工学部管理工学科卒業。1968年慶應義塾大学大学院博士課程修了、1970年ハーバード大学ビジネス・スクールInternational Teachers Program修了、1979年慶應義塾大学ビジネス・スクール大学院経営管理研究科教授、1997年～2001年慶應義塾大学ビジネス・スクール大学院経営管理研究科委員長兼ビジネス・スクール校長、2005年中部大学経営情報学部長。2007年中部大学学監。工学博士。慶應義塾大学名誉教授。



研究支援センターとインキュベーションルームが設けられた16号館。

で、ぜひお訪ねください。それから、中部大学では文部科学省の支援を受けて、「食のプロフェッショナル」の人材育成プログラムに取り組んでいます。このプログラムを執行していくにあたっては、地元企業や市民のご協力が不可欠です。食のプロフェッショナルである敷島製パンさんからも、いろいろとご教授いただければと思います。

三浦 中部大学では、すべての学科と大学院に研究生制度を設けています。幸友会が窓口になって研究室をご紹介しますこともできますので、ぜひご相談ください。共同研究の分野では、中部大学の研究支援センターをご活用いただきたい

と思います。主に共同・受託研究などの相談窓口として設けたセクションで、企業や国、自治体のニーズと大学が保有する研究とのベストマッチングをめざしております。センターのある16号館にはインキュベーションルームがあり、本学と共同研究をおこなう企業が入居しています。ここから、数々の研究シーズが新しい商品や事業へと発展しているんですよ。

山根 産学連携に関しては、ぜひ大学へお願いしたいことがあります。パナソニックグループでは商品開発をおこなう体制として、直近に発売する商品の開発に取り組む事業場の技術部門と、3〜5年先の商品開発をめざした商品開発の研究所、5〜8年先を考える要素技術の研究所、そして、10年先を見越して活動する先端技術の研究所があります。この先端技術の研究所が扱うようなテーマが、本来企業にはとても重要と認識しています。でも、企業がまだ見ぬ未来に向かって大きな投資をすることは、なかなか難しいのが現実です。大学との共同研究でも、3

〜5年先をめざした技術開発がほとんどだと思います。もちろん、商品開発分野における産学連携は企業にとって欠かせないものですが、そこで満足しては本当の意味で日本のためにならないような気がしてなりません。私個人としては、大学には私たちに次のシーズを与えてくれるような存在になつてもらいたいと思っています。これはというテーマを提供していただければ、企業はためらわずにヒト、カネ、モノの投入ができ、新しい事業につながる道がおのずと開けていくに違いありません。そのため、大学で進行している最新のシーズを、企業にもわかりやすくプレゼンテーションしていただけたらと思います。

三浦 大学の研究シーズをもっとわかりやすく発信していく機会を設けなくてはいいかもしれません。早速、検討しましょう。また現在、中部大学から産業界に発信する機会としては、「中部大学フェア※」があります。企業の皆様と技術交流、連携強化の推進、そして人材育成について交流を図るイベントです。

全学部の子供たちを紹介するとともに、シンポジウムや研究者によるミニ講演会、施設見学会もありますので、ぜひご活用ください。

小野 確かに、研究の最前線を公開する機会は、産業界へというよりは学界へ向けた場がほとんどです。大学の研究シーズ情報がよく見えない状況は改善していかなくてはなりません。今日のお話で、産業界では製品の開発や改良によつて貢献する方法、生産過程において貢献する方法の両方を取り組んでおられることがわかりました。これからは、持続可能性の追求に伴うリスクを見極め、高度化・効率化することで、ビジネスチャンスに変えることが大切かと思えます。そのための企業と大学の連携活動は、これからです。産学の連携をサポートする政府機関の役割も必要になるでしょう。それらの取り組みに人材教育というアプローチは欠かせないと感じていますが、それは次回の課題にしていきたいと思います。

※2009年度の中部大学フェアは9月17日に開催しました。詳細は43ページをご覧ください。

持続可能な開発をめざした教育・研究活動

中部大学「ESD事業」経過報告

中部大学は、名古屋大学、三重大学、岐阜大学等とともに
国連大学に中部ESD拠点として認証され、ESD活動を推進しています。
キャンパスの各所で繰り広げられる研究活動をはじめとして、
企業や地域とともに取り組む産学官連携活動や、
国際的な交流などもはじまりました。
持続可能な開発をめざす中部大学の取り組みをレポートします。

キャンパス全体を ESDの博物館として整備

ESDは、「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development)の略称です。これまでの「開発」は、環境、社会、経済に多くの弊害をもたらし、「持続不可能」な状況を生み出していました。私たちが直面している多くの課題を解決し、安心して暮らせる未来を実現するために、今、「持続可能な開発」が求められています。その実現に取り組むために必要な力や考え方を学ぶ活動がESDです。

以前から中部大学では、さまざまな分野において環境保全に関わる研究に取り組んでおり、ESDに直結する取り組みも数多くあります。そうした研究をESDの視点で見直し、キャンパス全体をESDの博物館として整備しようとする取り組みが「キャンパス・エコミュージアム・プロジェクト」です。たとえば中部大学がエネルギー分野で他に一歩抜き出ている研究に、現在の送電システムである交流送電に替わる「超伝導直流送電」があります。学内に建設された超伝導送電システムにおいて超伝導送電の基本技術が開発されたことから、企業や国からの注目を集めました。現在は、「超伝導・持続可能エネルギー研究

センター」を設立し、実用化をめざしています。他には、太陽光発電、石炭のクリーンな活用、ヒマワリ油計画、燃料電池、電気自動車など、エネルギーに関する多様な研究が進行中。いずれも実生活に応用できる研究活動であり、将来「持続可能な社会」を築くプロフェッショナルとして活躍できる人材育成の場としても機能しています。

エネルギー分野以外では、人類の重要な課題である食糧に関する研究、キャンパスの樹木マップやキャンパスに飛来する鳥のマップ作成といった生態系に関わる研究などがあり、すべてをキャンパス・エコミュージアムとして公開するツアーの実現をめざし、整備を進めているところです。

春日井キャンパスの一部が、 里山再生プロジェクトの一環に

中部大学では、応用生物学部や工学部が中心となって、数年間にわたって土岐川・庄内川・堀川などにおいて環境調査を実施。河川の水源がある山林の状況について地元の人たちと調査する「森の健康診断」にも参加してきました。また、中部大学恵那キャンパスには東濃地方の特徴的な自然が残っており、その調査内容の一部は、30号

2010年 COP10名古屋で開催

パートナーシップ事業、次々と展開

2010年、名古屋でCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)が開かれます。2010年は国連の定めた「国際生物多様性年」であり、また「締約国は現在の生物多様性の損失速度を著しく減少させる」目標年にもなっています。

現在、開催地としての取り組みが数々なされており、中部大学でも、「COP10推進委員会」を設けて、パートナーシップ事業に積極的に取り組んでいます。これまでに「生物多様性と『持続可能な発展のための教育(ESD)』フォーラ

ム」、「中部大学環境シンポジウム—COP10に向けて—」、「中部大学 春の専門講座土岐川・庄内川流域圏の生物多様性—くらしといのちの豊かさをもとめて」を開催しました。またキャンパス内の里山を地域に開放し、生物多様性に着目した観察、管理をおこない、その成果をCOP10でアピールすることも計画されています。COP10への協働体制は今後の学内連携体制強化にもつながることでしょう。

2007年から中部大学応用生物学部は、「土岐川・庄内川流域における地域生態系保全」に関する研究に、清水建設(株)と共同で取り組んできました。遺伝子・種・生態系・景観の4つを切り口に、両者の得意技術を融合させて、生物多様性を保全、修復する技術を構築することが目的です。1年目は、東海地域の里山環境の代表的生物、ハルリンドウ、ヒメタイコウチ、アカネズミ

企業や海外の大学との コラボを通じた活動も

里山林」と位置づけ、環境学習や教育研究の場として活用していく計画です。こうした地域の公共事業との連携も、ESDの大切な事業です。



71号館裏の里山林の選択的伐採

2007年から中部大学応用生物学部は、「土岐川・庄内川流域における地域生態系保全」に関する研究に、清水建設(株)と共同で取り組んできました。遺伝子・種・生態系・景観の4つを切り口に、両者の得意技術を融合させて、生物多様性を保全、修復する技術を構築することが目的です。1年目は、東海地域の里山環境の代表的生物、ハルリンドウ、ヒメタイコウチ、アカネズミ



ハルリンドウ

館1階「自然史資料展示ブース」で公開しています。また、中部大学のキャンパスが愛知県の「あいち森と緑づくり」事業のモデル事業地に選ばれました。71号館奥に残る自然を里山として整備。「市街地型里山林」と位置づけ、環境学習や教育研究の場として活用していく計画です。こうした地域の公共事業との連携も、ESDの大切な事業です。

の三種を対象に研究。これによって、地域固有の生態系の保全・再生につながられる調査結果が得られました。このような研究活動には学生が関わり、将来的に環境に関わる人材の教育にもつながっています。

持続可能な発展は地球規模で考えることが必要です。ESDによる人材育成も、国際連携を通してなされるべきでしょう。2009年、中部大学は、これまでにESD事業を掌握してきた中部高等学術研究所に加え、よりESDに特化した組織である「国際ESDセンター」を大学内に設置しました。これまでにタイやインドを訪問して連携を結び、現在は国際シンポジウムの開催に向けて準備を進めています。さらに、持続可能な発展には自然科学だけではなく、社会科学も人文科学も必要です。中部大学の総合大学としての特長を生かすために、ESDはふさわしい事業だといえるでしょう。

幸友会会員企業の知恵を、中部大学生へ。

幸友会講座、スタート。

2008年発行の幸友vol.11に掲載された

「スペシャル座談会 幸友会活動のあり方を問う」。

その対話の中で、大学の人材育成に会員企業が積極的に参加する

「幸友会講座」の開催が提案されました。

幸友会会員企業がおこなう講演会やインターンシップ、
会社訪問などを通じて、学生たちに学ぶ目標・人生の目標を
見定めてもらうことが目的です。

2009年、その試みが講演会というカタチで実現しました。

ここでは、その模様をレポートいたします。

第一回幸友会講座は、3年生を対象にした「インターンシップ事前研修会」の一環としておこなわれました。講師として教壇に立ったのは、木野瀬印刷株式会社代表取締役社長木野瀬吉孝氏。中部大学春日井キャンパス15号館の大講義室をいっぱい埋めた学生たちは、二時間の間、非常に熱心な様子で木野瀬氏の声に耳を傾けました。

第一回幸友会講座

就活に臨む
学生の皆さんへ

人は、なぜ働くのか

—仕事観なき就活はするな—

世の中の変化には、
自己変革で対応する。

百年に一度の経済危機だといわれていますが、これまでもこのような状況は幾度もあり、その度に日本人は努力と忍耐で乗り越えてきました。しかし、今日の社会においては、今までのようにはいかないようです。今、日本経済は国際化、高度情報化、少子高齢化、成熟化の4つの潮流によって変わりつつあります。広がるマーケットや情報過多、労働人口の減少、物余り等の変化に賢く対応できなければ、生き残ってはいけません。そのため、世の中の流れに従って自分を変えていくこと、すなわ



講師
木野瀬印刷株式会社
代表取締役社長

木野瀬吉孝氏

きのせ よしたか

愛知県印刷工業組合副理事長、
中部大学幸友会常任理事

ち自己変革が必要になってきます。「変化」は変わることですが、「変革」は変えること、自分から攻めて変えていくことです。就職や社会人になることは、自己変革の最大のチャンス。この機会をバネにして、どんどん攻めていくください。チャンスの時に変革できなければ、社会に適應できないとみなされて、ふるい落とされてしまいますよ。

個人の能力が問われる 優勝劣敗の時代。

景気が右肩上がりの時代には、取引先が業務拡大したり、公共事業が増大したりして、自然と仕事が発生します。そういう状況では、量や価格競争でライバルの仕事奪い、勝つことが求められました。弱肉強食の世界です。ところが現代は、優勝劣敗の時代へと変化しています。優れた人が勝ち、劣った人が負ける公平な社会です。今、皆さんは平等なチャンスのもとに立っています。努力する人としらない人、仕事観を持つ人と持たない人とは、大きく未来が変わってくるでしょう。同時に、みんなが渡れば怖くないという生き方も通用しなくなり、という生き方も個人を守ってくれます。企業や社会が個人を守ってくれる時代は終わりました。蒸気機関車より新幹線が早く走るのなぜだと思いませんか。蒸気機関車は先頭車輛にしか動力がないのに対し、新幹線は一つひとつの車輛に動力がついているからです。ぜひ皆さんも、自分で走る能力を持った存在をめざしてください。

自分の時間で自分を磨き、 仕事観を持って就活を。

健全な就職活動は、健全な恋愛と同じです。だまし合いでは、必ず破局を迎えます。大切なのは、自分を正直にアピールすること。嘘で塗り固めて入社しても、良いことはありません。また、最近良い企業は買収手市場と言われますが、どんな時でも、皆さんが企業を選ぶ立場であることは同じです。ですから、企業を選ぶために必要な情報を徹底的に調べてみてください。そして、いつでも第六感が機能するように、自分の時間を使って五感を磨くことを惜しまないでください。真剣に取り組んだことは、将来必ずあなたの力になり、企業の力となることでしょう。人は、人に頼りにされたいから働きます。同僚やお客様に頼りにされてはじめて給料がもらえる。それが仕事です。「人はなぜ働くのか」をしっかり考え、仕事観をしっかりと持ってインターンシップや就職活動に臨み、自分の道を選択していくってほしいと思います。

学生たちのレポート

「利他共栄」という言葉が素晴らしい。

講師が造られた社は「利他共栄」は、まさに社会における企業のあり方をあらわしていると思う。お給料はお客様からいただいている。だから、感謝と尊敬の念を持ってサービスしなければならぬ。「利他共栄」は、企業の存続と繁栄に必要な不可欠な考え方だと感じた。

応用生物学部 環境生物科学科3年 K.Mさん

努力の大切さを実感。

この大変な時代だからこそ努力が必要だと感じた。確かに、勝ち組と呼ばれている企業は皆、いろいろとアイデアを出し、工夫し、業績を伸ばしていると思う。努力する人間は生き残れるという言葉聞き、就活に対する心構えができた。

人文学部 コミュニケーション学科3年 M.Iさん

就活に向き合う機会となった。

私は、これからはじまる就職活動が、いやでしかたなかった。自分が企業から審査されるということが、あまり好きになれなかったからだ。しかし、今回の講演を聞いて、気分が楽になった気がした。一生勤める会社を、一生懸命見つけていきたいと思う。

工学部 機械工学科3年 K.Sさん

強いメッセージを感じた。

一つひとつの逸話に、メッセージが込められていると感じた。今は学生だから一人で勝手にできることも多いが、社会に出ると他人の協力なしでは成功しないこと、日頃から努力して自分を磨いておかないと、社会に認められる人物にはなれないことを教えてもらった。

工学部 都市建設工学科3年 Y.Iさん

開催の報告と お知らせ

第二回幸友会講座 2009年10月28日(水)開催

講師:本多電子株式会社 代表取締役社長 本多洋介氏

演題:「右脳型人材」と「ものづくり」共進化が企業を成長させる

第三回幸友会講座 2009年11月11日(水)開催予定

講師:東海物産株式会社 常務取締役 霜越憲一氏

演題:未定



稲崎一郎 教授

いなさき いちろう

総合工学研究所所長

【専門分野】

機械加工プロセス/工作機械/トライボロジ

【研究テーマ】

機械加工プロセスの自動監視技術/環境親和切削加工/難削材料の超音波振動切削加工

生産加工学

中部大学が拠点となる ものづくりの ネットワークを構築。

**中部大学の知財と
ものづくり精神の融合。**

世界有数のメーカーがひしめき、日本のものづくり産業の中心ともいえるべき東海地区。そこに位置する本学が拠点となり、企業との連携を含めた技術交流等のさまざまな試みがおこなわれています。「本学の科学研究費補助金の獲得額は、医薬学系を除いた中部圏の私立大学の中で第1位。これは研究活動がきわめて活発で、高く評価されていることを示しています。『ものづくり』がしっかりと根を下ろ

した地域特性、そして本学が持つ知財。その2つの有用な資源をどう結び付け昇華させていくかが、私の役割なのです」。

大学と企業を結ぶ ネットワークを構築。

まず、稲崎所長が取り組んだのが、技術を介して本学と企業を包括的に互いに協力し合うことを目的とした「中部大学テクノフェイスフォーラム」。プロジェクトを指揮するのが、本学総合工学研究所の稲崎一郎所長。2007年に第1回が開催さ

れ、企業の比較的若手の技術者・研究者が交流を通して、技術開発へのモチベーションを高めています。当初はトヨタ自動車やデンソーなど大手企業が中心となっていました。が、参加者の評価も高く、現在では

中小企業などにも広く参加者を募るまでに。「企業は産学連携に関して、学生の研究や学びを支援するという甘い考えではありません。結果を求めています。そういうシリアスな環境の中で、確実な成果を上げるということは、学生にとって貴重な経験となるはずです。そして、経験を積み、技術を磨いた学生が、今度は企業の中で活躍し、地域社会へ還元していくこと。まさに、そこに本学がものづくりの拠点となる大きな意義があると考えています」。中部大発のものづくりは、その可能性とともに、さらなる広がりをみせています。



中部大学テクノフェイスフォーラム

中部大学7学部24学科と大学院4研究科12専攻では、
たくさんの可能性を秘めた研究活動が進められています。

ここでは、明日のビジネスシーズとして期待される研究テーマをご紹介します。

no.02



豊田 洋一 教授

とよだ よういち

工学部建築学科

【専門分野】

建築計画学

【研究テーマ】

計画手法/空間構成/まちづくり/施設計画/公園計画

建築計画学

社会が抱える さまざまな課題を 建築というアプローチで解決。

“家が引きこもる”という
現代日本の住宅事情。

「今の日本の住宅をみていて思うのは『家がまちに向かっていない』ということ。人だけではなく家自体が引きこもりのような状態にあるのです」。そう語るのはまちづくりや建築企画を手掛ける豊田洋一教授。防犯・プライバシー保護などの要因によって、家は高い塀や生垣で覆われ、まちはコミュニティとしての役割を失いつつあります。まちがまちとして正常に機能するために、豊田教授は“家

先”というアプローチからその打開策を見出していきます。「店には工夫を凝らし通りの人を誘う”店先”があるように、本来家にも”家先”があるので、その開かれた家先こそが、地域のコミュニティの場となりうるのです」。

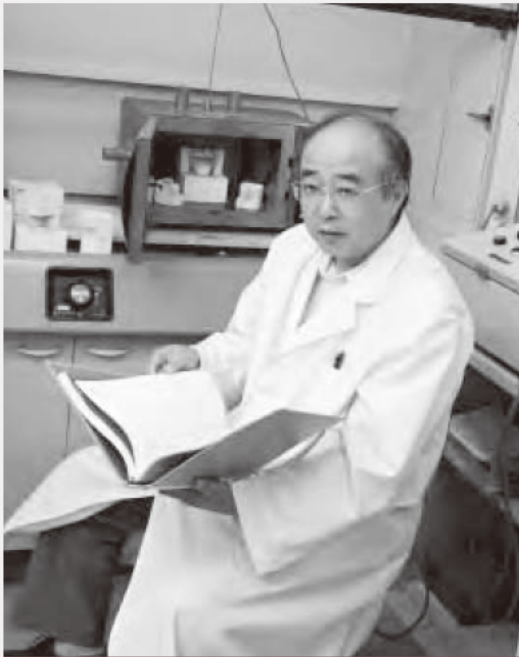
社会的プログラムへの アプローチが必要。

「社会には、その時代に求められる社会的なプログラムがあります。たとえば高齢化社会であれば、高齢者を支援するためのシステム。それを遂行するための人材が求められるなら組織の結成が、そこで施設等が求められれば建築が必要になってきます。つまり、建築を考えると、その中心には社会的なプログラムがある

わけです。言い換えれば、建築が社会に向かっていること“が大切なんです”。現在、豊田教授が取り組んでいるのは、あるニュータウンの再生計画。かつての新興住宅地が今や過疎地のような空洞化を招いているといえます。時代とともに生まれる新しい社会問題に、豊田教授は建築というアプローチで挑み続けます。「建築が社会やそこに暮らす人びとに与える影響は微々たるものかもしれませんが、しかし、着実に何かが変わっていくことも事実。だからこそ、私たち建築に関わる者は常に『いいもの』をつくり続けていかななくてはならないのです」。



岐阜県多治見市の依頼により作成された「まちづくり」
「家づくり」に関するパンフレット



今枝健一 教授

いまえだ けんいち

工学部応用化学科

【専門分野】

物理化学

【研究テーマ】

マイクロ波を用いたプロセス化学

プロセス化学

マイクロ波がもたらす
新しい化学反応が
未知の化合物を生み出す。

分子の数、条件の数だけ
新しい発見の可能性が存在。

マイクロ波の利用はレーザーには始まり、近年では携帯電話、工業用加熱や家庭用電子レンジなど広く用いられています。これらはマイクロ波のもつ熱的效果の利用ですが、今枝健一教授の研究室ではマイクロ波のもつ非熱的效果である内部加熱効果、電場効果、磁場効果、円偏波効果などに注目して、マイクロ波を化学反応の制御に利用する研究をおこなっています。「化学物質、いわゆる分子の

種類は一千万種以上あると言われており、また反応させる環境、たとえば温度、圧力、光、電場、磁場などによっても反応の進み方が変わってきます。したがって、これらの組み合わせは莫大であり、今までに知られていない新しい発見が潜んでいるはずです」。

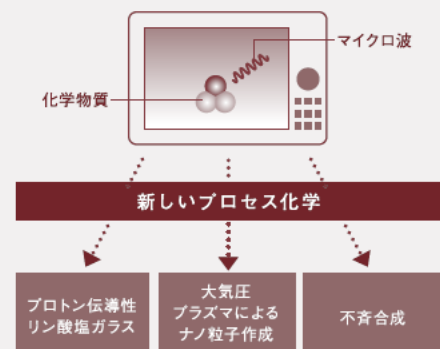
好ましい特性の物質だけを
取りだす方法を探究。

化学物質にはアミノ酸に代表されるように光学異性体が存在し、これらは対称な鏡像体の

関係にあります。たとえばサリドマイドという物質。一方の光学異性体は睡眠作用を示し、他方の光学異性体は催奇作用という毒性を示します。「マイクロ波にも互いに鏡像関係にある右旋マイクロ波

と左旋マイクロ波の円偏波が存在しています。この円偏波マイクロ波を使ってどちらか一方の光学異性体だけを選択的に合成（不斉合成）すること、つまり好ましい生理作用をもたらす一方だけを取りだすことができれば、医薬品といった医療分野などで活用することができます」。燃料電池の材料となるプロトン伝導性リン酸塩ガラスに見られるように、マイクロ波によつて従来のものにはない特異な物性を示す物質が生み出されることがわかっています。新しい領域だけに、この今枝研究室から画期的な発見が生まれるかもしれません。

■マイクロ波を利用した化学反応の例





小林 猛 教授

こばやし たけし

応用生物学部応用生物化学科

【専門分野】

がんの温熱療法/バイオテクノロジー

【研究テーマ】

バイオ技術を駆使したがんの温熱療法/磁性ナノ微粒子を用いる疾病の早期診断法の確立

をしたときに生成するタンパク質である熱ショックタンパク質を多量に生成させること。この作用により免疫が活性化することがわかったのです。「この活性化は非常に強力で、動物モデルでは温度が全

く上がっていない別の部位の腫瘍も完全に退縮させることができました。つまり、遠隔効果が認められたのです」。マグネタイト微粒子を直接腫瘍に集積させるといふ腫瘍局所における選択的な療法であるにも関わらず、直接加温されない全身のがんに対しても免疫賦活によって治療効果を示すといった、がん治療の理想を実現可能にする治療法であると考えられます。すでに、臨床応用の段階に入っており、悪性度の高い皮膚がんの患者さんに温熱療法が実施されたほか、乳がんの患者さんにも温熱療法が実施されることが決定しています。

ハイパーサーミア

加温によって がん細胞を死滅させる 温熱免疫療法を開発。

マグネタイト微粒子によって
悪性腫瘍だけを加熱。

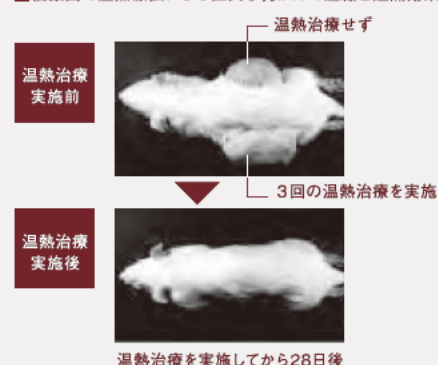
現在、がんの治療においては、手術、化学療法（抗がん剤）、放射線療法が三本柱となっており、そのがん治療に「温熱療法」という新しいアプローチから挑んでいるのが小林猛教授。「正常組織より悪性腫瘍組織の方が温度上昇に対して細胞が死滅しやすい。そこに着目したのが温熱療法。交番磁場をかけることで発熱するマグネタイト微粒子を悪性腫瘍に送り込み、悪性腫瘍だけを加熱して死滅させま

す」。薬剤を使用し続けると、やがてその薬剤に抵抗性のある悪性腫瘍細胞が出現します。しかし、熱という物理的な因子に対しては、抵抗性の悪性腫瘍細胞は出現しないので、原理的には全ての固形腫瘍に応用できる方法といえます。

熱ショックタンパク質が、 転移したがん細胞を退縮。

さらに温熱療法には、がん細胞を死滅させることのほかに、もうひとつの大きな効果が確認されています。それは、火傷

■複数回の温熱療法による巨大な乳がんの退縮と遠隔効果





高村基治 教授

たかむら もと はる

応用生物学部食品栄養科学科

【専門分野】

食品加工製造/商品開発/品質管理

【研究テーマ】

食品新素材の探索と応用/食品製造の安全安心システムの構築

食品加工製造学

捨てられてゆく 未利用資源・加工副産物を 日常食品として再生。

**栄養価の高い「おから」から
主食となるパンや麺を製造。**

私たちの周りには20000種近くの食材があり、日々これらの食材やその加工品など、さまざまな種類の膨大な数の食品に囲まれて生活しています。しかし、店舗に並べられる前の加工・製造段階において、数多くの未利用資源や加工副産物が破棄・処分されているのです。高村基治教授の研究室では、それらを無駄なく活用することを目指す。おからを活用したパン

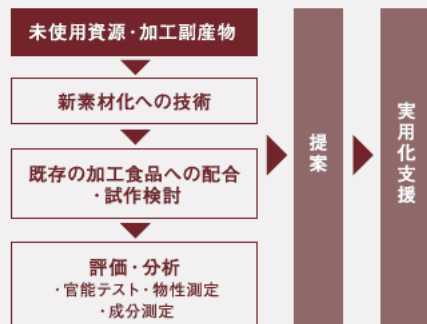
や麺類等を製造することに取り組みんでいます。「商品化が最終目的ですが、食糧自給率の低い日本の食糧事情を考えると、こういった取り組みを通してデータをしっかりと蓄積していくことにも大きな意味があると考えています」。

商品として成立させるには、「美味しさ」が必要不可欠。

食品産業は年商85兆円の規模があり、これは国民総支出の16・8%にあたるほど、生活産業の中で大きな割合を占めています。それだけに各メーカーは激しい競争の中におかれ、商品の品質維持・品質向上・コストダウン・新製品の開発などに懸命の努力をしています。大手食品メーカーにおいて開発部長を務めた経験をもつ高村教

授は、自身の研究に関しても厳しい基準を設けています。「激しい競争に打ち勝って生き残っていくためには、大前提として食品に関する基礎知識や加工製造理論に関する物理・化学の知識、高い技術力、深い洞察力が求められます。さらに消費者は単に『栄養価が高い』『資源の有効活用』というだけでは商品を購入しません。商品である以上、美味しさが常に求められるのです」。高村教授は、おから以外にも多くの破棄される資源に注目して研究をはじめます。近い将来、この研究室から生まれた商品がコンビニやスーパーで売られる日が来るかもしれません。

■未利用資源・加工副産物を使用した 新商品実用化までのフロー





中部大学研究支援センターでは、企業の皆様のニーズに応じて、関連分野の研究者を紹介しています。共同研究や委託研究など、研究支援の相談窓口としてお気軽にご相談ください。

研究支援センター

0568-51-4852 (直通)

幸友会事務局を介したご相談も承っております。

幸友会事務局 0568-51-4740 (直通)

no.06



小久保正 教授

こくぼ ただし

生命健康科学部生命医科学科

【専門分野】

バイオマテリアル学

【研究テーマ】

低侵襲組織再生型体内埋め込みシステム

生体材料学

骨と結合する人工材料を探究。 メイドインジャパンの 人工骨・人工関節。

ストーリー賞受賞が持つ
もうひとつの意義。

ガラス関連技術の優れた研究に贈られるストーリー賞。同賞は光ファイバーなど革新的な発明・技術を生み出した科学者を毎年一人表彰している。今年、日本人初となるその荣誉に輝いたのが、人工骨・人工関節の研究を続ける小久保正教授。「私の研究が評価されたということは素直に嬉しいことですが、それ以上にこの受賞の持つ意義は大きい。というのも、アメリカの2、3の大手メーカーによってつくられた製品が世

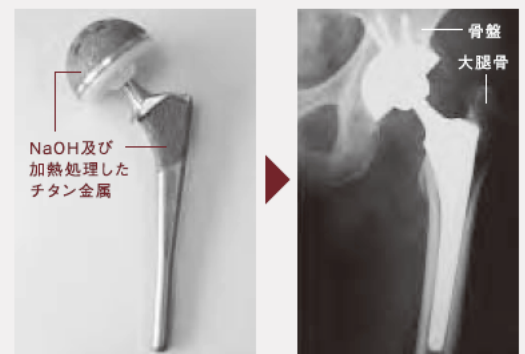
工学的なアプローチから 医療分野に貢献。

界シェアの約9割を占める情勢の中で、その中心となるアメリカの学会がメイドインジャパンを評価したのですから。自動車産業の中心がアメリカから日本に移っていったこととオーバーラップします」。

小久保教授の研究はヒトの骨と完全に結合する材料を人工的につくること。一般に人工材料は、生体内でコラーゲン線維の膜に取り囲まれ骨と結合しません。その難題に対し、まず取り組んだのが人工材料と骨が

結合するための条件の解明。これらの結果に基づき、動物実験なしで骨結合性を評価できる疑似体液を開発。それを活用して1991年にヒトの骨と結合するセラミックを、2007年にはチ

■チタン合金を材料とした人工関節（股関節）



タン金属を使った人工関節の実用化に成功。現在は、関節の褶動部しよくどうぶにおいて優れた耐磨耗性を示す金属材料の開発研究をおこなっています。「私は医師をめざしていましたが、それが叶わず地質学の道へと進みました。ただ、それが思わぬかたちで今活かされています。医師になったら、この発明が生まれることはなかったでしょう」。異なる道を歩んできた小久保教授だからこそ到達し得る斬新な視点と知識が、また新たなメイドインジャパンを生み出すことになるかもしれません。

名

古屋駅前で、「現代風俗研究会」(連の仲間たちと、高層ビルの下を往来する人びとを風俗観測した。鉄道の「駅」というのが出現したのは近代で、日本で言えば明治中頃、たとえば『ビゴー日本素描集』(岩波文庫)では汽車に乗る人びとの表情が描かれている。

この駅に訪れる見知らぬ人びとをながめることは楽しい。小さな身体に大きな荷物を背負う山着姿のおばさん、赤茶けた革のトランクにカンカン帽を被りカイキン(開襟)シャツを着たおじさん、赤児を背中におんぶし、風呂敷包みを提げる主婦、どこから来て何しに行くのだろう。人の身形をほんやりながめながら、空想をめぐらす。

むろん、今では山着姿のおばさん、カンカン帽、おんぶ姿もすっかり消えてしまった。かわって大きなバッグの底に小さな輪が付いた台車(カートと呼ぶ)に荷物を乗せ、コロコロとひく人たちを見る。右へ左へ、ほんやり見ていると、カラカラ、キコキコ、カタカタ、ゴロゴロ…妙な音がする。アスファルトの歩道、地下街の通路、階段など、歩く所によつて音質がちがっており、そのカートのデザイン

(輪の材質・形態)によつてもちがう。で、この「人力荷物移動車」、人力車をコロコロ、コロちゃんと呼ぶ人がいる。

エンジンで走る自動車、マイカーが普及し、高速鉄道が走り、航空機が飛び、空中を電磁波が飛びまわる現代都市文明の中心地で、人力コロちゃんが行く。風俗観測をした仲間によると、駅前はたしかに、旅行者・外国人も多いためコロも多いが、他の繁華街やショッピングモールなどでもコロがいる。電車内でも見る。ビジネスマン、買物客、学生、幼児(子供用カート)もコロをひく。かつてタウンリユックが老若男女のファッションとなり、ブームを巻き起したが、その風俗を思い出す感じである。

その昔、育児に乳母車うたてくるまを使っていた。今では赤児を育てる時はベビーカーだが、以前は大型4輪の籐・布製の乳母車であった。孫子が生まれると、母親のほかおばあさんやおじいさんが、この小車を使つて育てる。やがて数年経つと子は成長し、乳母車は不用となり残る。この赤児がいなくなった空車をおばあさん、おじいさんは散歩代わりにひく。足腰が弱くなった人には杖代わりで、私が住む東海地域では、ごく最

暮らしのエッセイ ③

町角をゆく コロコロ

岡本信也

text by Shinya Okamoto



図1

注:社団法人・現代風俗研究会(京都)の年報31号「駅前風俗観測」をしており、その中にコロコロの共同研究報告が出ている。2009年12月刊行予定。

近までこのような風俗を見た。別の地域では、「老人と乳母車」はめずらしい光景と映るかもしれないが、当地では散歩にかぎらず野良仕事や市場へ買物する時にも、この小車を使っていた(図2参照)。

むろん、今では高齢者向けのシルバーカーやショッピングカートが出まわって、旧来の小車は影をひそめてしまった。ただ、この小車は赤児用のベビーカー、老人用のシルバーカーに見るような、単一個人用のものではなく、その家の道具として存在していた。私が小さな町や

図2



図3



村を点々とフィールドワークしていた1970年代の頃、乳母車に野菜を積んで行商するおばさん、豆腐を乳母車(改造している)で運ぶおじさん、ふとんを運ぶおばあさん、粗大ごみを出す人、植木を運ぶ人……などさまざまな使い方をする人たちに出会った(図3参照)。それはちょうど、マイカーブームの最中、自家用車を持つことが幸福のシンボルのように思い込み、何もかもが、自動車中心となる頃に、気づいた光景である。家の道具であった小車が、わずかに生き残る暮らしの風俗だった。

自動車街中を大量に走りまわる時代以前は、人がひく車が主流だった。むろん、牛馬がひく荷車もあり、乗

合いのバス、4輪トラック、オート3輪、タクシードもエンジンの轟音とともに走っていたが、今とはくらべものにならない。人がひく車の方が多かった。たとえば太平洋戦争後のリヤカー。自動車のサドルの後に取りついたり、それ自体を人がひいたりするゴムタイヤ2輪の車である。八百屋・魚屋・煮売り屋・荒物雑貨屋……さまざまな職業の人たちが運搬や行商に使っていたし、焼芋屋・豆腐屋・つくだ煮屋・屑屋などのリヤカーは、りん(鈴)やラッパを鳴らし町角を通り過ぎていた。たぶん今でも、日本どこかの片隅で自動車の大水に飲み込まれながら、チリンチリンと音をふるリヤカーがいるだろう。ある時、落語家が、昔、人が車をひ(引)いたが、今は車が人をひ(轢)きますと言った。うまいことを言う。自動車がリヤカーを無用物とした。

真夏日、人力の3輪車で宅配をする若者がいた。汗びっしょりで荷を運んでいた。情報化社会では物資の移動——物流システムもさかんとする。いきおい、宅配・郵便配達の人たちは昼夜を問わず仕事に追われる。トラックの輸送や集散地ではコンベア・リフト・カー・クレーンなど自動装置が備わっているが、

その機械と機械の間、接合点にはかならず、コロ(小輪)付きの台車、手車がある。それをひく人がいる。運搬配達の先端には人力の車がある。それは駅前のコロコロと同質のものである。

昨日、ウィリアム・モリスの「アーツ・アンド・クラフト展」を見た。19世紀後期、イギリスが工業化社会に突き進むなかで、モリスは人間の労働のあり方について考えた。労働者が「機械の奴隷」になっている状況に憤慨し、人間による労働の意味と価値を問い直す運動を展開した。モリスは近代デザイン運動のひとりとして後世、評価された。人がひく車としてコロちゃんも、アーツ・アンド・クラフトの今日的な旗手になってほしい。

(おかもとしんや/考現学採集者)

図4



私の格言

『報恩感謝』

地域の皆様のおかげで
今ここにありたいという思い。

福玉精穀倉庫(株)の起源は、明治時代。先祖の社本九平が五条川のほとりで、水車を使って精穀業をはじめたことが発端です。濃尾平野を貫くように流れる五条川は、今も昔も地域の農業に欠かせない水源。この母なる川の水を地域の皆様と分かち合う時代を経て、弊社は今年創業135年を迎えました。

私は、幼い頃から両親に「地域の皆様をはじめ、従業員や取引先の皆様のおかげで私たちはここにある。感謝の気持ちを片時も忘れてはならない」と言い聞かされて育ちました。父も、祖母から教えを受けたそうです。先祖代々受け継がれた『報恩感謝』の心は、いつしか福玉精穀倉庫(株)の精神となり、経営理念に定められました。

長きにわたる歴史の歩みの中には、苦難の時もありました。昭和26年には、事業の一本の柱である倉庫業を開業しましたが、

先代であった父は大口町長の任を受け、商売への邁進が許されない状況に。当時まだ大学生だった私は、急きよ倉庫部門の名古屋営業所長として、当時貨物駅があった笹島に早朝から通いつめる日々を送りました。倉庫業としては新参者だったため、なかなかシエアが拡大できずに苦労

したものです。昭和34年の伊勢湾台風来襲時には、中川運河が溢れ、河畔にあった倉庫が浸水しました。

1,200トンもの小豆の入れ替え作業のために、遠く

大口町から、そして水浸しの名古屋市内から、多くの人が駆けつけてくれました。弊社も、被害甚大であった地域のお役に立ちたいと、救援物資用に倉庫を提供しました。こうした事柄は、報恩感謝の大切さを、身を持って知る機会となりました。これまでの135年を支えたこの言葉こそ、次の100年、200年を築くものと信じて、次の世代に伝えていきたいと思っています。



福玉精穀倉庫株式会社
代表取締役会長
小牧商工会議所会頭

社本宮明

社本 宮明(しゃもと みやあき)氏/昭和6年愛知県生まれ。昭和28年福玉精穀倉庫株式会社入社。昭和44年福玉株式会社代表取締役社長就任。平成5年福玉精穀倉庫株式会社、福玉米粒麦株式会社の代表取締役社長に就任。平成15年より会長。

interview

企業のトップが語る人生訓 Vol.3

企業人の格言

私の格言

『夢を持ち続けければ、必ず叶う。』

幸せの神様に出会った私が、心から信じていること。

皆さんは、幸せの神様を知っていますか。私たちは、気づいていないだけで毎日幸せの神様とすれ違っているそうですよ。この幸せの神様を、私は期せずして捕まえたことがあります。

私には、テニスクラブをはじめたいという夢がありました。丸丹スポーツ用品(株)に、テニスの専門店としての魅力をプラスしたかったからです。しかし、広大な土地も資金もありません。そこで私は、遊休地をお持ちの地主さんを紹介してほしいと取引銀行へお願いし、他方で、テニスコートを借りてテニス教室をはじめました。それから半年ほど経った頃、銀行から呼び出しの電話が入りました。駆けつけると、16,000坪の土地運用を検討している方を紹介されました。私は早速テニスクラブの事業を提案。話を重ねた結果、着工が決まり、昭和50年4月、名古屋グリーンテニスクラブとして28

面のテニスクラブがオープン。私も株主の一人に名を連ねることができました。その間いろいろと相談に乗ってくださいました先輩に「私はラッキーでした。お陰様で完成いたしました」と報告した時のことです。彼は「君はラッキーだったのではない。自分でつかみ取ったんだ」と言ってくれました。「幸せの神様は顔に髪が生えていて、後頭部がツルツルなのだよ。だから、多くの人はすれ違ったあとで気がつき、振り返ってつかもうとするがツルツルでつかめない。君は夢を持ち、計画を立て、準備をしていたから、幸せの神様を捕まえることができたんだよ」と。その時から私は、「夢を持ち続けければ、必ず叶う」と信じるようになりました。

今、私たち小売業界は大型店舗に押され、非常に厳しい状況にあります。でも、私はこれからも夢を持ち続け、新しいチャレンジをしていきたいと思っています。



丸丹スポーツ用品株式会社
代表取締役

辻本昌彦

辻本昌彦(つじもと まさたか)氏/昭和19年岐阜県生まれ。昭和47年丸丹スポーツ用品株式会社入社。昭和63年代表取締役に就任。社団法人名古屋中法人会副会長、栄町商店街振興組合理事、愛知県スポーツ用品協同組合理事、日本スポーツ用品協同組合連合会理事を経て現在は顧問。

激動する時代の波の中でも、冷静に企業の舵をとることが求められる経営者。その生き方の指針となり、心を支えたのは、どんな言葉なのでしょう。おふたりの企業人人生の歩みとともにお話しいただきました。

珠 玉の言葉で、私たちの人生の道筋を明るく照らしてくれる本。

一冊の本が人生を変えることもあれば、

ベストセラー本が時代の象徴となることもあります。

今回からスタートするこのコーナーでは、毎回本にまつわるテーマを掲げ、

各界の第一人者にお話を伺います。



今回のテーマ

「自己啓発本」 流行りの現代を斬る。

今回お話を伺った方



中部大学 人文学部
コミュニケーション学科

井上輝夫 教授

いのうえ てるお

慶應義塾大学文学部仏文学科在学中に「三田文学」編集に関わる。同大学院に在籍しながらニース大学にて博士号を取得。慶應義塾大学教授、慶應義塾ニューヨーク学院長などを経て、2003年より中部大学教授。

— 昨今の自己啓発本ブームをどう
思われますか。

一般的な自己啓発本は、人生をどう経営するとか、きちんと企画書を書けるように文章練習をするスキルとか、人づきあいはどんな風がいいかなど、社会人として職業上のノウハウを教えることが主眼ですよ。私はいえは実はそういうたぐいの本をあまり読んだことがないので。父の仕事ぶりを実際に見たり、先輩から教えられたりして覚えてきました。たとえば学生時代、スキーが大

好きで冬休みには社会人グループと一緒に山へ入り、彼らの会話に参加したものです。その中で、たとえば「サラリーマンになるなら、こういうことが重要だ。本を読んどけよ」とか自然に教わりました。当時は、世代間のコミュニケーションの機会がたくさんあったのです。しかし、最近の若者たちには、このような交流が少なく、学ぶ機会がないのかもしれない。だから、自己啓発本に頼るのかもしれない。

—昔の方が、自己を啓発する力、感性は磨かれていたのかもしれない。

今は、進路ひとつ決めるにしても、非常に情報量が多く、選択肢も多い時代です。しかし、逆に見れば情報のインフレーションでもあって、二つひとつの情報の価値は下がっているように思います。若者たちは、メディアからたくさん情報を得て、いろんなことを知っているようですけれど、深くは理解していません。簡単に得たものはそれだけの価値しかないのではないのでしょうか。そんなこともあって社会をつか

みきれず、将来の方向を見定めにくくしているのではないのでしょうか。与えられるだけでは啓発力はつきませんね。

人間はお腹だけでなく精神的にも飢えるものです。私は、戦後の何も無い時代にどさ回りのサーカスを見て、初めて「美しい」ということを知りました。今は、本屋やレンタルショップに膨大な量の本やDVDがあり、飢えるということがないでしょう。そのためにかえって、知的好奇心が育たず、自ら積極的に求めていく探究心が衰えてしまうのかもしれない。

—豊かさが、人びとの生きる目標を見えにくくしているのでしょうか。

戦後の日本には安保闘争などいろんな問題があったけれど、全体として一種のナショナリズムが底流に存在していました。戦争に負けて、日本という国をもう一度つくらなきゃいけない、という社会的意志です。私ですら戦没学生の碑を見て彼らの分もやらなければと思ったものです。私は排他的なナショナリズムを

否定しますが、人間には健全な誇りや気概が必要だと思っています。今は私的自由は拡大したものの、公益という観点が希薄になっていて、そのせいで、若い人が社会に対して参加する意識とか誇りを持っていないのではないのでしょうか。さらに現代はグローバルゼーションによって、国際関係の中で国益を主張するだけでは通用しない時代になりました。だから、公的なものは何かという行為の背景がなくなりつつある気がします。大人の責任もありますね。

—自己啓発力が失われると、人はどうなるのでしょうか。

一般化するのには危険ですが、今の若い人たちを見ると、どんな社会人になって、どんな風に成長していきたいのかという見通しが、非常に曖昧です。学生たちは、しばしば「普通の生活がいい」というちょっと若者らしくない表現をします。実際「普通の生活」とは何でしょうか。今生きている世界がずっと続いていくと、どうして確信できるのでしょうか。私は世代的に、社会が完全に逆転するこ

と、あるいは崩壊することへの緊張感には常に必要だと思っています。明日にも政府が倒れ、国債が紙切れになるかもしれません。今の若い人は、今の制度や日常がリアリティだと思っている。そんな無警戒感が本当に不思議です。これこそ保身的な平和なのです。『草食系男子』なんて言葉もあるようですが、「君たち、動物の世界だったら食われちゃう立場だぞ」と言いたい(笑)。

**ナショナリズムの失われた社会で、
新たに公的なものは
何かについて考えて行こう。**

Book Review

井上輝夫先生の

私の一冊



唯円『歎異抄』

金子大栄校注
岩波文庫

『歎異抄』は親鸞の弟子、唯円によって書かれたものと言われている。どうやら親鸞が布教の地であった越後や北関東を去ったのち、門徒たちのあいだに信仰をめぐっている異説がでてきて、それを嘆いた唯円が親鸞の考えを聞き取った問答が『歎異抄』である。

仏教書の読みかたはいろいろあると思うが、私の場合は、まず仏教が人間のあり方をどう見ていたかということに興味を惹かれる。その点からいうと、『歎異抄』は他力本願や悪人正機など親鸞の人間観を知ることができる貴重な問答だと思う。

加えて、問答なので話しことばで書かれており、この種のものとしては分かりやすいこと、本文だけであれば文庫本で30ページほどにすぎないこともあって多くの読者に親しまれてきた本である。注釈にたよるのは最少限にとどめ、考えながらゆっくり読むに値する一冊であろう。

—そのような若者たちを、企業の幹部候補として育てていくにはどうしたらよいのでしょうか。

企業に入社してくる若者を本当に幹部候補生として育てていきたいのであれば、たとえば正装をさせて最高級のレストランで食事させることですね。

幹部候補生たちが今後渡り合うはずの世界で通用するマナーを、しっかりと経験させることです。たとえばアメリカの例ですが、西海岸でソフトウエアの開発に関わる若者たちの才能はすごい。けれどもジーパン姿で髪もボサボサ。これでは、交渉する際に馬鹿にされてしまうからと、彼らの社会的振る舞

いを教育し直そうという試みがあったそうです。これは、カタチを整えるだけのレッスンのことを指しているのではないはずです。

私がフランスに留学していた時、日本の外交官の卵とつきあっていたことがあつたのですが、日本人に足りないものは教養だ、としきりに言っていました。日本人は、政治の交渉も条文の解釈も、対等にできる。でも、一番肝心なことは、仕事が終わってから一緒に食事をした時に知的なウィットにとんだ楽しい会話ができるかどうかだと言っていました。そこで人間としての器が測られてしまうのです。これは西欧型というわけではなく、世界中どこでも同じだと思

います。幹部には人間としての器が問われるわけです。

—日本は豊かになっても、根底の文化が貧しいという問題があるのかもしれないですね。

心や徳といったものは物質的に計れないことを、現代の社会は見失っています。人間のあるべき理想は何かということとを、企業のトップの人たちはきちんと考えなければならぬのではないのでしょうか。そして、その時にぜひ理解しておいてほしいのは、文化をつくる人間は影の部分と光の部分、両方があつて人間だということなんです。むしろ人間の理解に

は、影の部分の理解の方が重要だと思います。この理解にはやはり、教養が欠かせません。日本の歴史の中にはそんなことを示唆するような短い本があります。たとえば『方丈記』は原稿用紙三十枚程度しかないと思いますし、親鸞の『歎異抄(鈔)』もそうです。それが今の時代まで読み継がれていることを考えると、少ない言葉でいかに多くのことを伝えていく本か、お分かりでしょう。生きていく上での覚悟や生き様は、ノウハウとして教えられるものではありません。自ら積極的に動いて、先人が大切にしてきた素晴らしい本と出会い、豊かな文化とは何かを深く考えて、自分の答えを見つけていることが大切だと思います。



幸友会会員企業を訪ねて

中部大学から巣立った卒業生たちの多くは、幸友会会員企業で活躍しています。大学時代に培った教養やスキルは、どのように業務に役立てられているのでしょうか。各社の魅力や特徴とともに、お話しいただきました。



株式会社 川本製作所

玉川充 さん

たまたがわ みつる

岡崎工場 技術部設計一課 課長
中部大学工学部電気工学科1988年度卒業



省エネ大賞「資源エネルギー庁長官賞」を受賞したNF2形「ソフトカワエース」。

**ポンプ一筋90年
時代の先端を行く製品を開発**

ポンプと言えば、井戸用の手動ポンプを思い浮かべる方も多いと思いますが、現在は電気ポンプが主流です。弊社は、創業以来90年以上、常に時代の先端を行くポンプの開発を手掛けてきました。業界初の家庭用電気ポンプを開発・販売し、平成14年には、家庭用ポンプNF2形「ソフトカワエース」で、省エネ大賞「資源エネルギー庁長官賞」を受賞。インバーターによる吐出し圧力一定運転と高効率のDCブレスレスモーターの採用による省エネルギー性と静音性が認められました。こだわりは、凍結防止時にセラミックヒーターの代わりにポンプ低速運転時の発熱を利用し、周囲温度に応じてON/OFF頻度を自動制御させる事によって消費電力を大幅ダウンした点。高品質ステンレス製で清潔給水もお約束しています。私は、このNF2形「ソフトカワエース」の設計を担当しました。

**水の品質にこだわり、
世界に誇る性能を追求**

設計にあたっては、中部大学で学んだ電気の知識が役に立ちました。ポンプの開発に、これほど電気の知識が必要だと知ったのは入社してからのことです(笑)。今は、部下を率いていく立場ですが、製品の省エネ化、静音化、小型化はこれからも追求し続けたいと思っています。需要としては、井戸を使うご家庭が減少しており、ビル設備用ポンプの展開が増えていきます。しかし、水は、私たちが生きていくためになくてはならないもの。蛇口をひねれば、おいしい水が飲める日本は、世界でも稀な国です。ポンプを通る水の品質にまで気を配って開発してきたからこそ、日本のポンプは世界に誇れる高いレベルとなりました。今後は海外への展開も視野に入れ、さらなる性能の向上をはかりたいと考えています。



株式会社 川本製作所

〒460-8650

名古屋市中央区大須四丁目11番39号

TEL : 052-251-7171 (代表)

代表取締役社長：高津悟

設立：昭和24年

URL : <http://www.kawamoto.co.jp>

■業種／製造業

■企業理念／「信用第一」「品質本位」「旺盛なる責任」

■主力商品

ビル設備用、農事用、工業用、海水用、公共用、家庭用ポンプなど。



株式会社
トーエネック

森弘幸 さん
もり ひろゆき

名古屋支店 配電部 業務グループ長
中部大学工学部電子工学科1986年度卒業



今日も皆様のもとへ、確実に電気をお届けできるように努めています。

確かな技術力と提案力で
皆様の快適な暮らしを支える

私たちの快適な暮らしのために必要な電気や空気、水、そして情報。それらを安全・確実にお届けするインフラストラクチャの整備や構築が、トーエネックの業務です。中部電力グループの一員として、中部圏の配電線・配電地中線など電気を安定供給するための工事を一手に担い、オフィス・商業ビルや工場などの屋内電気設備も数多く手掛けています。また、空調・給湯システムや情報通信分野のインフラ構築などにも幅広く対応しています。最近では、環境に配慮したエネルギー設備に関するご提案も増えてきました。太陽光発電システムやオール電化機器など、ご家庭の省エネ設備工事はもちろん、省エネルギー改修工事のパフォーマンス保証をビルオーナーに提示する新しいサービス、E S C O 事業などを推進しています。

安全で確実な施工をめざし
人員調整の配電をふるう

良質な電気を送るための設備には、安全で確実な施工が欠かせません。電気を扱う業務には、細心の注意が必要であり、現場に必要な要員数やその能力を見極めて、タイムリグよく振り分けていくことが肝心です。私は、名古屋支店が管轄する13営業所と協力会社に属する900名以上の人員の配置を調整しています。人が足りない営業所に応援を入れる場合は、効率だけを考えるのではなく、必要な能力がその人に備わっているかを判断し、さらに、通勤に負担がかかりすぎないかなどの配慮も必要となります。気をつかう業務ですが、うまく配電できれば現場から反響が返ってきますし、営業成績など目に見える結果が出るとうれしいですね。人をフォローすることが、私にとってのやりがいになります。



株式会社トーエネック

〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄1丁目20番31号
TEL : 052-221-1111
代表取締役社長：越智洋
設立：昭和19年
URL : <http://www.toonec.co.jp>

■業種 / 総合設備業

■企業理念 / 社会のニーズに応える快適環境の創造をめざす・未来をみつめ独自性を誇りうる技術の展開をめざす・考え挑戦するいきいき人間企業の実現をめざす

■主力商品

エネルギー、環境、情報に関わるインフラ整備。

掲載企業大募集!

次号中部大学幸友会会報誌幸友Vol.13は2010年10月末日発行予定です。ただ今、次号の掲載企業を募集中。他にはない独自の技術を持つ会社、アピールしたい魅力のある会社を、紹介していきたいと考えています。「我こそは」という会員企業は、ぜひご応募ください。

お問い合わせ・お申し込み先

中部大学幸友会 (中部大学渉外部内)
TEL. (0568) 51-1111 (代表) (0568) 51-4740 (直通)



東春信用金庫

大坪勝智 さん

おおつば かつとも

高蔵寺支店 支店長
中部大学工学部工業化学科1995年度卒業



窓口はお客様との親交をはかる大切な場として大切にしています。

”地域のために”を第一に
企業の皆様の信頼に応える

東春信用金庫は、小牧・春日井エリアがまだ東春日井郡と呼ばれていた昭和27年に、地元の中小企業の皆様に対する融資を目的とした信用組合として誕生。信用金庫に改組した後一貫して地域への貢献を第一とした企業活動に努めています。たとえば、『とうしゅん地域活性化プログラム』は、金融面で地域の活性化を支援する事業です。各地の商工会議所との提携によって起業主様や個人事業主様への融資を推進しています。この事業から生まれた『産学連携ローン』は、春日井商工会議所と中部大学によって設立されたKASUGAI産学交流プラザと連携して、企業の研究・開発費を支援する融資商品です。技術開発や新事業創出の一助として、ぜひお役立ていただきたいと思えます。

誠実な対応と情報の共有で
お客様満足度の向上へ

私は今年1月から高蔵寺支店の支店長として、業績の管理や人材育成に取り組んでいます。なかでも特に力を入れているのが、お客様の目線に立ったサービスの充実です。個人のお客様はもちろん、商店を営むご夫婦や町工場の事業主様から頼りにしていただくためには、日頃から確かな情報を丁寧に伝えていく姿勢が欠かせません。そのために、私たちは知識の習得に励むことはもちろん、たとえ担当者が不在であっても、お客様のお問い合わせには全員が答えられるように、「報告・連絡・相談」を徹底して情報の共有化をはかっています。そうして築いた信頼関係をベースに、東春信用金庫のノウハウすべてをお役立ていただくことが、お客様満足度の向上、ひいては地域社会への奉仕につながると思っています。



東春信用金庫

〒485-0041
愛知県小牧市小牧3丁目178番地
TEL: 0568-72-2181
理事長: 鈴木義久
設立: 昭和27年
URL: <http://www.toshun.co.jp>

- 業種 / 金融業
- 企業理念 / 融資を通じて地域社会の発展に貢献する
- 主力商品
事業資金などの融資商品、住宅ローンなどの消費者ローン、普通預金、貯蓄預金などの個人向け預金商品など。

確かな人材育成のために、採用活動の早期化に歯止めを。

世界的な金融危機や経済の変動によって、企業の雇用も縮小の傾向にあります。

大学新卒者の求人倍率は昨年の2.14倍から、1.62倍へと一気に低下。

2009年7月時点における中部大学への求人件数も、前年の8割程度に留まりました。

一方、少子高齢社会を迎えた日本で、新卒採用は企業の未来に関わる重要なミッションに。

優秀な人材を確保するため、企業が求める学生のレベルはより高くなり、

採用活動はより早くからスタートする傾向が見られます。

しかし、この採用活動の早期化は、企業と学生に必ずしも幸せな結果をもたらしてはいません。

就職は、未来を担う人材の育成を、教育現場から社会へと移行するステップ。

今、採用活動の正しいあり方を考え直すことが、企業と大学に求められています。

学生の内定辞退はなぜ防げないのか

昨年度末に企業の内定取り消しが大きく報じられました。多くの採用ご担当者様にとっては、学生の内定辞退の方がより身近な問題ではないでしょうか。他社に先駆け採用活動をスタートし、優秀な学生の確保をめざしても、実際の入社になかなかつながらない。そんな状況に、多くの採用ご担当者様が悩ませておられるようです。中部大学キャリアアセンターにも、内定辞退を未然に防ぐ方法や、学生のモラルについての問い合わせが寄せられることがあります。しかし、大学4年生の9月30日までの内定は内々定と定義されており、その日まで学生を拘束することはできません。内定のルールは、国公立の大学や短期大学などで構成する就職問題懇親会による就職についての「申合せ」と、(社)日本経済団体連合会による大学卒業予定者等の採用選考に関する「倫理憲章」で定められています。平成20年10月14日付の「申合せ」には、以下のよう

正式内定開始について

正式内定日は、10月1日以降である旨学生に徹底する。正式内定に至るまでの間においては、複数の内々定の状態が継続しないよう、学生を指導するとともに、9月30日以前の内々定は学生を拘束しないものである旨徹底する。

平成21年度大学、短期大学及び高等専門学校卒業予定者に係る就職について(申合せ)より抜粋

この「申合せ」で示されているように、大学サイドでは、複数の内々定を保持し続けることをなるべく避けるよう学生に指導しています。しかし現在、学生が複数の内々定先の中から1社を選ぶ流れは、ごく普通のことです。これは、採用活動の早期化によって就職活動期間が長くなり、より多くの採用選考へトライできるようになったからだと考えられます。

2008年度の就職結果報告

学科名	卒業生数 (人)	就職希望者数 (人)	求 人			就 職			幸友会会員企業就職		
			会社数(社)	人数(人)	求人倍率(倍)	会社数(社)	人数(人)	就職率(%)	会社数(社)	人数(人)	会員への就職率(%)
機 械 工 学 科	170	153	7,482	7,514	49.1	125	153	100.0	39	51	33.3
電 気 シ ス テ ム 工 学 科	90	77	7,429	7,463	96.9	71	76	98.7	26	29	38.2
電 子 情 報 工 学 科	78	71	7,161	7,191	101.3	59	70	98.6	29	36	51.4
都 市 建 設 工 学 科	58	54	6,437	6,452	119.5	50	54	100.0	17	19	35.2
建 築 学 科	118	101	6,519	6,544	64.8	73	96	95.0	16	22	22.9
応 用 化 学 科	69	55	6,328	6,339	115.3	49	55	100.0	11	11	20.0
情 報 工 学 科	101	79	6,712	6,723	85.1	65	78	98.7	22	32	41.0
経 営 情 報 学 科	116	104	7,079	7,082	68.1	91	103	99.0	23	27	26.2
経 営 学 科	127	111	7,028	7,030	63.3	101	108	97.3	22	26	24.1
国 際 関 係 学 科	52	49	6,680	6,681	136.3	45	47	95.9	10	11	23.4
国 際 文 化 学 科	68	50	6,663	6,664	133.3	46	47	94.0	6	6	12.8
日 本 語 日 本 文 化 学 科	71	61	6,609	6,610	108.4	53	57	93.4	10	10	17.5
英 語 英 米 文 化 学 科	67	47	6,660	6,661	141.7	42	44	93.6	4	5	11.4
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	75	60	6,688	6,690	111.5	51	55	91.7	4	4	7.3
心 理 学 科	70	57	6,572	6,573	115.3	50	50	87.7	9	9	18.0
歴 史 地 理 学 科	80	63	6,528	6,529	103.6	51	54	85.7	6	6	11.1
応 用 生 物 化 学 科	99	61	6,081	6,084	99.7	55	60	98.4	9	11	18.3
環 境 生 物 科 学 科	89	70	6,008	6,010	85.9	64	67	95.7	12	12	17.9
食 品 栄 養 科 学 科	88	80	5,900	5,904	73.8	63	80	100.0	8	11	13.8
生 命 医 科 学 科											
保 健 看 護 学 科											
児 童 教 育 学 科											
幼 児 教 育 学 科											
合 計	1,686	1,403	126,564	126,744	90.3	1,204	1,354	96.5	283	338	25.0

豊かな大学生活が
社会人基礎力を育む

企業によっては、大学生が3年生の秋頃には早々と採用活動をスタートさせます。情報社会の今、長期にわたって情報を収集したり、複数の採用試験を受けたりする時間を学生が確保できることは、良いことに思えます。しかし実際には、必要以上に早くから就職活動をはじめた学生が、必ずしも良い結果を得ているとは限りません。イメージに偏った企業理解や仕事への幻想に振り回され、数をこなした割には就職につなげていないケースも見られます。それは、学生たちの就職観がまだでき上がっていない状態であることを表しています。大学3年生の秋は、教育の過程ではまだ半ばにあたります。本来なら、研究活動に打ち込み、サークルでも後輩たちをひきいて活躍するなど、人間的に大きく成長するチャンスに満ちた時期です。そうした時に、多くの学生が学業やサークル活動をなげうって就職戦線に向かうことは、学生を未熟なまま社会に送り出してしまふことになりかねません。大学生として備えるべき学力や人間性などの社会人基礎力を学生が得るため

にも、採用活動の開始時期はなるべく遅い方がよいといえるでしょう。

中部大学では、幸友会会員企業様にも多数ご参加いただく学内企業説明会を、毎年大学3年生の2月に開催しています。キャリアセンターは、その時期に照準を合わせて仕事に対する学生の意識を醸成し、学業と就職活動を両立できるように指導しています。企業の皆様には、会社説明会や採用選考を3年生の春休みまでは控えていただくように、学生が充実した大学生活を過ごすための時間を少しでも長く確保できるようにご配慮いただき、採用活動における早期化は正へのご理解とご協力をお願いいたします。

採用担当者様へ

求人に関するご相談やお問い合わせは、キャリアセンターまでお気軽にどうぞ。



中部大学キャリアセンター
TEL.0568-51-1111 (代表)
0568-51-4184 (直通)
FAX.0568-51-1982
E-mail:syusyoku@chubu.ac.jp

「幸友会就職ナビ」
掲載企業も募集中

中部大学幸友会事務局
TEL.0568-51-4740 (直通)
http://www.chubu.ac.jp/koyunavi/
(幸友会就職ナビ)

General meeting report

第21期

中部大学幸友会総会報告

創立70周年を迎える学園との協力体制によって、
地域の隆盛に寄与することを誓う。

平成21年4月22日(水)、名古屋東急ホテルバロックの間にて、「第21期中部大学幸友会総会」が開催されました。世界的な経済危機が叫ばれるなか、会場は300名もの参加者で埋まり、「元気な中部」の健在を表す盛況ぶりに。今年70周年を迎える学園とのパートナーシップや産学官連携事業の推進によって、地域の隆盛に寄与することを誓い合いました。

犬山市長、春日井市長から 祝辞を賜る。

典氏より「中部大学を核に、地域はもちろん日本をリードできる関係の構築を」とのご祝辞を賜りました。

「百年に二度の危機といわれる今こそ産学官連携を強化し、新しいビジネスシーズを地域の隆盛につなげよう」。先行き不透明な経済状況に喝を入れるかのような清水勲会長のあいさつから、第21回目の幸友会総会は幕を開けました。続く大西良三名誉会長からは、今年も中部大学の就職率が100%近くを維持したこと、今年度の学園入学者数が過去最高を記録したこと、現在、学園創立70周年記念式典に向けて準備中であることなど、中部大学の現況を伝える報告がありました。また、第20期事業報告・収支報告と第21期事業計画・収支予算発表の間には、犬山市長田中志

世界のエネルギー事情とこれからの課題について解説いただきました。その後、会場を移しておこなわれた懇親会は、春日井市長伊藤太氏による乾杯の音頭でスタート。会員同士が親交をあたためる姿が見られました。



中部大学の現況を伝える
大西良三名誉会長

プログラム

■総会 (PM4:00~)
開会
会長あいさつ
名誉会長あいさつ
報告:理事会・評議員会の
審議事項の報告

■講演会 (PM4:50~)
演題 / 「最近のエネルギー動向と
バイオエタノールをめぐる国際情勢」
講師 / (株) UDEXコンサルティング
代表取締役、元エッソ石油 代表
取締役・常務 西尾直毅氏

■懇親会 (PM6:00~)

中部大学幸友会 新役員

新理事
愛知電機株式会社 取締役社長 山田功
春日井商工会議所 専務理事 小形修
(敬称略・法人名五十音順・2009年4月22日現在)



西尾直毅氏による講演会

第21期 中部大学幸友会事業計画

1. 総会・理事会・評議員会の開催
2. 学術文化興隆のための事業として講演会、研修講座の開催と中部大学公開講座の後援および中部大学キャンバスコンサートへの協力
3. 学園がおこなう地域交流を支援、促進するための事業
4. 学園がおこなう教育振興資金への支援
5. 2010企業ガイド・幸友会就職ナビの作成および中部大学学内企業説明会協賛
6. 会員相互の親睦と啓発のための事業
7. 産学官連携協力事業
8. 幸友会会報「幸友」の発行
9. 中部大学主催講演会・講座・研究発表会等の案内および中部大学定期刊行物等の配布
10. その他 (本会の趣旨に即する事業・功績への協力)

第20期中部大学幸友会事業報告 (一部抜粋)

2008

4月

- 11日 第65回常任理事会 開催(名古屋東急ホテル)
- 23日 第66回常任理事会、第20期理事会・評議員会、総会 開催
設立20周年記念式典、記念講演会、記念演奏会、懇親会
開催(名古屋東急ホテル)

5月

- 12日 中部大学幸友会会報「幸友会設立20周年記念号」発行
全会員に配布
- 21日 持回り常任理事会
優秀課外活動援助(中部大学硬式野球部)承認

6月

- 12日 「中部大学研究者紹介2008」法人会員に送付
- 21日 第60回中部大学キャンバスコンサート 後援
「クアルテット アーニマ コンサート」(三浦幸平メモリアルホール)

7月

- 2日 外国人留学生(大学院生)奨学金授与式
- 8日 第61回中部大学キャンバスコンサート 後援
「バスクアーレ・イアンノーネ ピアノリサイタル」(電気文化会館)
- 18日 中部大学幸友会会員名簿発行 全会員に配布
- 19日 中部大学ESD(持続可能な発展のための教育)事業 参加
「キャンバス・エコミュージアム・プロジェクト」発足記念集会および
第1回公開シンポジウム(三浦幸平メモリアルホール)
- 23日 第7回企業経営講演会 開催(中部大学名古屋キャンパス)
- 26日 中部大学現代教育学部開設記念講演会 参加(中部大学)

8月

- 20日 中部大学公開講座[秋講座]案内 送付

9月

- 15日 2009企業ガイド・就職ナビ掲載案内 発送
幸友会法人会員に案内
- 19日 中部大学フェア2008参加(中部大学)

10月

- 10日 第67回常任理事会開催
- 24日 中部大学総合工学研究所開設25周年記念講演会
参加(中部大学)
- 25日 第62回中部大学キャンバスコンサート 後援
(三浦幸平メモリアルホール)
「オペラ歌手による7カ国・世界の歌」

11月

- 4日 中部大学幸友会会報「幸友」Vol.11 会員に配布
- 14日~15日 役員研修会(奈良)
- 26日 第8回企業経営講演会(中部大学名古屋キャンパス)

12月

- 13日 第5回中部大学音楽祭 後援(愛知県芸術劇場)
- 26日 第3回中部大学ライフサイエンスフォーラム 参加
(中部大学)

2009

1月

- 15日 2009企業ガイド発刊・就職ナビの開設
- 24日 中部大学中部高等学術研究所 生物多様性と
「持続可能な発展のための教育(ESD)」
フォーラム 参加
- 28日 第9回企業経営講演会 開催(中部大学名古屋キャンパス)
- 30日 第1回中部大学幸友会企画委員会開催
(名古屋東急ホテル)

2月

- 12日~14日 学内企業説明会 協賛(中部大学)
- 26日 持回り常任理事会
教育振興資金協力の承認

3月

- 5日 中部大学環境シンポジウム 参加(中部大学)
- 10日 平成20年度中部大学産業経済研究所
研究発表会 参加(中部大学)
- 11日 平成20年度中部大学総合工学研究所
研究発表会 参加(中部大学)

最近のエネルギー動向と バイオエタノールを めぐる国際情勢



講師
株式会社UDEXコンサルティング 代表取締役
元エッソ石油 代表取締役・常務

西尾直毅氏

にしお なおき

慶應義塾大学法学部法律学科卒業。1964年エッソ石油(株)入社、慶應ハーバードビジネススクール(会社派遣)、エッソイースタン社/エクソンUSA社出向を経て、1979年エッソ石油(株)東京第2支店長に就任。その後、要職を歴任し、1998年エッソ石油(有)代表取締役・常務に就任。2000年エクソンモービル・マーケティング(有)相談役、2002年デックス・コンサルティング・インク代表を経て、2003年民間人として初めて特殊法人:新エネルギー・総合開発機構(NEDO)アルコール事業本部の理事・本部長に就任。2008年日本アルコール販売(株)特別顧問。同年(株)UDEXコンサルティング代表取締役に就任。慶應ビジネス・スクールでは顧問として日本のMBA制度の向上にアドバイスする傍ら、経済産業省などの各種審議会・研究委員会の委員も務める。

**金融危機を
どのように捉えるか。**

1990年頃から、世界中の先進国は、金融資産を増大するためにひたすら邁進してきました。わが国も、マーケットシェアを追いかけ、規模において日本一になろう、世界一になろうと頑張ってきました。それがこのような金融危機をまねこうとは、去年まで想像できなかったのです。ただ、先日たまたま訪ねたイタリアやフランスでは、マスコミがこんなに大騒ぎしてはいませんでした。日本は、「百年に一度の危機」という言葉に振り回されすぎているのではないかと感じます。これから日本の経済は成熟期から衰退期に入ります。今後のビジネス戦略では、今までのような量・一律、画一・拡大ではなく、健康、余暇、信頼、価値、安心、便利、他と違う、などのキーワードに相当するような新しい考え方が必要になることでしょう。ところが今、多くの企業が新規投資や研究開発費を凍結したり、人材・経費の節減など将来への投資を惜しんだりしています。このような右ならえの同一経営政策が、日本をシリンクさせて再起を遅らせているのではないかと危惧しています。

**成熟社会で成功する
マーケティング。**

日本には少子高齢化の問題もあります。労働人口が減少する一方の社会では、女性の進出や、高齢者の活躍が目立ちます。今後は、高齢者・女性非健康者向けのサービスや商品が求められることでしょう。そのような社会で成功するマーケティングは、一人のお客様を生涯大切にするというヒューマンリレーションズ・マーケティング。効率、システム化、合理化の一途だったアメリカのトップ企業や経営コンサルティングなどでも、顧客との信頼関係や社員との人間関係をもう一度見直すべきだという声が聞かれます。これらはまさに、日本が本来得意とするものです。ヒューマンリレーションこそ、日本がめざすべきひとつの方向性を示すのではないかと思います。

**石油をめぐる
現在の状況。**

このように世界がめまぐるしく変わる中で、石油を取り巻く状況はどうなっているのでしょうか。現在、石



油の需要の65%は、いわゆる先進国が占めています。今後は発展途上国の需要もぐんぐん伸びていくことが考えられるので、世界全体の需要は急増するでしょう。ちなみに、50年

ど前から原油の枯渇が危ぶまれていますが、今は技術の発展により海底2,000メートルから3,000メートルまで採掘できるようになり、地下資源としての発掘量は増え

ています。ただし、その分コストがかかります。さらに、今後は環境にやさしい石油製品が求められるため、精製コストも高くなり、そこに投機も絡んできますので、中長期的に見れば原油価格は上がる一方だと思っておかなくてはなりません。そこで、代替燃料として注目を集めているのが、植物からできたエチルアルコールであるバイオエタノールです。

世界が必要とする バイオエタノール。

今、バイオエタノールの需要は、世界で約7,700万キロリットルほど(2008年推定)です。日本の一年間のガソリンの販売量は6,000万キロリットルですから、ほぼ同量と言っていいでしょう。ブラジルでは、すでに燃料の25%ほどをエタノールに。アメリカ、ヨーロッパ、中国、タイ、インド、オーストラリアなどでも、E10としてガソリンの10%にエタノールを使用しています。今後、世界中の国が国内ガソリンの10%をエタノールに切り替えることになれば、現在のおおよそ倍が必要になると考えられます。日本で10%を

実現するには約600万キロリットル必要ですが、国内ではほとんど原料を生産できないため、輸入に頼らざるをえません。

安定供給への 険しい道のり。

日本の石油業界としては、実際に必要分のバイオエタノールを確保するめどが立たないこともあり、E^{*}TBEを混合したガソリンをマーケットに出したいと考えています。しかし、E^{*}TBE混合ガソリンをサービステーションで販売するには、膨大な設備コストがかかります。また、世界全体での供給量が少ないバイオエタノールを安定的に供給することや、食用エタノールとの混合を避けねばならないことなど、課題も山積しています。何より、個別の石油会社や販売会社で購入している限り、世界を舞台にした価格交渉では不利です。やはり、国が総合的に関わらないと、安定供給につながらないのではないかと考えます。ぜひ、政界、産業界の皆様からのサポートをお願いしたいと思います。

*エチルターシャリーブチルエーテルの略称。エタノールとイソブテンから合成される化学物質で、自動車燃料に混合して用いられる。

昭和23年創業の和菓子店に3代目として生まれた田口氏。赤坂、ニューヨークで修業後、株式会社新杵堂を立ち上げました。岐阜県中津川の栗を使ったお菓子を中心とす

講演テーマ
「はじまりは、すべて人」

第8回講演会

2008年11月26日(水)開催



講師
株式会社 新杵堂 (SHINKINEDO) 代表取締役

田口和寿氏

たぐち かずひさ



創業者本田宗一郎氏の薫陶を受けた最後の世代として、本田技研工業の開発畑で活躍された下島氏。エンジニアとして、経営トップとして見つめたホンダの成長と企業文化に

講演テーマ
「ホンダの成長と
企業文化」

第9回講演会

2009年1月28日(水)開催



講師
経営コンサルタント
(元本田技研工業株式会社 代表取締役専務)

下島啓亨氏

しもじま ひろゆき

生方氏は、18歳で渡米後、21年を経て帰国。父、進氏が起業した株式会社生方製作所を受け継ぎました。モータープロテクター、感震器、サーマルスイッチなどセーフ

講演テーマ
「夢見る力は生きる力“
独創へのこだわり”」

第10回講演会

2009年7月29日(水)開催



講師
株式会社生方製作所 代表取締役会長

生方眞哉氏

うぶかた しんや

成功企業の経営ノウハウを学ぶ実践経営塾

企業経営講演会

幸友会主催で開催される企業経営講演会。毎回、企業経営者をはじめとする各界の第一人者を講師にお招きし、経営ノウハウなどを伺っています。開催3年目の今年は、第10回目を迎えました。第8回からの講演を、ダイジェストでお伝えします。



るラインナップは、インターネット通販でトップの人気を誇ります。「幼い頃から、家族が朝から晩まで働いても生活が豊かにならないのはなぜか、疑問に思っていました。ところが、赤坂の店では、創作和菓子がひとつつ円、二千元。同じような商品でも、売り方やお客様へのアピールを変えれば、価格をコントロールできる」と学びました。その後、ニューヨークに渡り、レストランのデザート部門でゼロからチャレンジ。一日1ドルからスタートし、必死に努力した結果、店でもトップクラスの売上を誇るようになりました。ちょうどその頃、インターネット通販会社のamazonがデビュー。その斬新な販売手法に驚きました。そこで、仲間と4人でチーズケーキのインターネット販売を開始したのです。経営が軌道に乗った後に帰国し、経営者として再出発した田口氏。「それからは、まさに“人”に恵まれて、ここまで来ました。目上の方にだけ敬意を払い、勉強させていただく。それが会社を良くする秘訣であり原点であると思います。社員の声にも耳を傾け、自らやる気になれる風土づくりを大切にしています。また、通信販売の売り上げに支えられている当社では、品質管理とアフターフォローが欠かせません。常にメールを通してお客様の気持ちに届くようなサービスをこころがけています」。頑張ればチャンスが与えられるニューヨークと、人に学ぶ日本。お互いのいいところを掛け合わせたミックススタイルこそが、新杵堂のお菓子が愛される秘密なのかもしれません。

ついでにお話しいただきました。「創業から60年、ホンダは常に右肩上がりでの成長してきた稀有な自動車メーカーだと言えます。自車にエンジンをつけたオートバイからスタートし、スーパーカブの大ヒットによって大きな成長を遂げました。現在のホンダの企業文化は、創業者本田宗一郎が率いていた当時に、そのほとんどが創造されたと言ってもよいでしょう。たとえば、何か事をはじめるときには、まだゼロの状態であっても大々的に宣言し、社員を鼓舞して実現へと導きました」。その代表例が、1961年のマン島TTレース優勝という快挙です。本田宗一郎氏は、常に「世界一でなければ日本一でもない」と言って挑戦を諦めませんでした。また、乗り物はお客様の命を預かるものとして、品質や信頼性についての指導を徹底。たとえ1%の不良であっても、購入したお客様にとっては100%の故障であるとして、「120%良品」をめざしたそうです。「実証主義で現場現物現実の三現主義。現場では常に怒っている雷親父でした。ホンダは、宗一郎の精神を受け継ぎ、時代に即した商品の開発を続けることで販売台数を増やし、成長してきたのです」。下島氏は、自動車産業のこれからのについても言及。「自動車産業にもサステイナブルな考えが欠かせない時代です。ハイブリッド車はもちろん、電気自動車が目されています。その動力源であるエタノール、太陽光発電、水素などのガソリンに替わるエネルギーの開発は、国家で取り組まなくてはならない課題となるでしょう」と指摘しました。

ティ・テクノロジーを核とした主力製品は、自社で開発・製造・販売。自社ブランドを確立し、世界的メーカーへの成長を果たしました。現在は社長の席を後進に譲り、会長職に。講演では、創業者スピリットである「工学者は人の考えなかったものを考え、技術者は人がつくりなかつたものをつくる」に基づく経営思想を紹介。また、金融危機後の「大変な時代」をあらわすデータを提示しながら、金融危機・不況という逆境に加えて、技術覇権戦略において中国と米国の挟み撃ち状態にある日本企業の姿を浮き彫りにしました。「2002年の知的財産基本法制定以降、日本は知財バブル期を迎えました。中小企業がグローバル化を図る今、負の局面としてクローズアップされるのは、予期せぬ技術流出による模造品被害による中国発のデフレです。その上、模造品に対する訴訟費用が必要になり、知財コストは上昇の一途です。当社では知的財産部門を社内創設し、緻密な権利取得に力を注いで対策しています」。21世紀は中小企業もグローバルな知的財産戦略を持たなければ生き残れないと指摘しました。そして、「それでも私は、日本のモノづくりが負けると感じたことはありません。大企業を支える裾野産業である中小企業の底力こそ、日本の強みです。日本文化の集大成であるモノづくり産業がこの国を支えているのです。」と強調。不景気な時代も悪いことばかりではない。日本がめざすものはどこにあるのか。働くことの意味、哲学、道徳心を見直すチャンスである、と締めくくりました。

メンバーズサロン

Member's Saloon



幸友会会員の皆様の声をお届けする、
メンバーズサロンのコーナーです。
今回も、人生の厚みと人間性が映し出された
魅力的な3編が寄せられました。
メッセージの一字一句に込められた、
それぞれの思いを感じてください。

投稿募集

メンバーズサロンでは、会員の皆様からの原稿を募集しています。テーマは自由です。日頃思っていることや趣味のこと、昔の思い出や体験談、エッセイや人生訓など、短文でも構いません。文字数は600字程度で、タイトルをつけてお寄せください。また、本文に関するお写真等がございましたら、一緒に幸友会事務局までお送りください。ご応募をお待ちしております。

時代が大きく変わってまいりました。
去る8月末の衆議院議員総選挙では、政権政党の交代を国民が選択しました。世論調査によると、国民が最も重視しているのは「医療・年金などの社会保障」が一番で、続いて「景気対策」「子育て・教育問題」「消費税などの財源問題」「国防・安全保障」となっております。つまり、時代が少子高齢社会へ急激に変化していて、負担と給付のバランスが崩れ、年金・医療・介護などの社会保障制度への危機感と不安が

新しい時代と 行政運営

大府市長

久野孝保

くの たかやす

生まれ、そこへ昨秋から米国発の金融危機に端を発した経済不況が加わって「何となく将来への不安」が国民の気持ちを暗くさせており、政治に期待する国民感情がよく伝わってまいります。

私はいま大府市(人口85,000人)という小さな町の市長として行政運営を担当しておりますが、選挙の公約に掲げましたのは「子ども・お年寄・障がい者など社会的弱者の支援」と「安心安全で活気あふれる豊かなまちづくり」、これを言い換えますと「社会保障」と「平和と繁栄」であります。私が40年前、大学で政治学を学んだ頃には「社会保障」と「平和と繁栄」は国家の仕事だと思っておりました。しかし今や、地方自治体が国政と協調しながら市民福祉の向上を推進する時代となってきた気がします。これからは時代の変化を適確に把握して、市民の幸せを実現する行政運営を誠心誠意努めてまいりたいと思っております。

探し物の旅と夢想

愛知電機株式会社 取締役社長

山田功

やまだ いさお

この頃、会社でも家庭でも探し物をする人が多い。どこかに書いてあったとか、見たはずだと書類や新聞の記事を探すことも度々ある。考えてみれば、生まれてから入学、友人、就職、伴侶、顧客、ゴルフ仲間などを探し続け、見つけてきた。「人生とは探し物の旅」とは良く言ったものだと感心する。

実社会から退いたら何をしようかと50代半ばになった時、夢想した。そして、三つのことを心に決めた。一番目は料理を習うこと。これまでは全くの上げ膳、据え膳状態。料理さえ出来れば、

どんなことがあっても生きていける。二番目はデザインを勉強すること。子供の頃、看板屋さんの仕事を飽きずに眺めていた。年を経て、興味を持った商業デザインを少し本格的に学びたい。三つ目は懺悔の記録を残すこと。流行の自分史では重すぎる。偽りというか、心ならずもというか、我が人生に多少の悔いありと反省したい。

しかし、段々と時間が追ってきて、これらを可能にするには健全な心身があつてのことと気付いた。多分、思いとは裏腹に頻繁に買い食いをして、勉強も三日坊主で終わり、懺悔する事すら思い出せなくなるのが関の山だろう。

退職の案内状を頂くことが多いが、その中に「お陰様で大過なく勤めることができました」という挨拶文に出会う。幸せて羨ましい。私の場合、探し物の旅がまだ続くが、どれも中途半端に終わりそうで、やはり「大過ある人生になりそうだ」と言うことになる、と思う。

五十にして天命を知る

株式会社坪井利三郎商店
代表取締役社長

坪井進悟

つばい しんご

建築物保存先進国の欧州では古い街並みが数多く残り、重要な観光資源として地域の経済を潤しています。元来我が国にも豊の波が織成す風土と調和した美しい街並みがあり、明治の頃日本を訪れた外国人は、その美しい景観に強く心を打たれたようです。日本の美しい街並みを構成する上で、古くから屋根は最も重要な役割を担ってきました。150年程経った現代、自己中心的で無計画な開発優先の街づくりが行われ、日本の美しい景観は失われつつあります。

瓦屋の4代目として「事業を通じ

て人の心を豊かにするような都市景観への貢献を」と努めてきた私にとって、このような日本の景観の窮状は大きなわだかまりとなっていました。そんなある時ご縁があり知合ったのが日本の都市計画の第一人者である伊藤滋氏でした。伊藤氏曰く「日本の街並みは屋根と街路樹で構成されており、これらの整備と電線の地中化は、美しい日本の景観形成のために欠くことが出来ない」とのことでした。この伊藤氏との出会いは非常に衝撃的で、今まで自分の心の中にあつた霧がすつと解け、非常に晴やかな気持ちになったのです。正にこのとき「五十(歳)にして天命を知った」瞬間でした。

それからは伊藤氏の師事を仰ぎながら私が会長を務めさせていただいている日本屋根外装工事協会を中心に景観創りに関する啓蒙活動を実施して参りました。今後私のライフワークとして、日本が世界に誇れる景観創りに参画していきたいと思っております。



イベントレポート

中部大学フェア

—産官学連携・人づくり・ものづくり—

2009年9月17日、第5回目の中部大学フェアが開催されました。会場である春日井キャンパスでは、中部大学7学部8研究所の知的財産を企業や地域の皆様に広く紹介するための多彩なプログラムが展開。企業、地域の皆様と、知の交流がはかられました。

シンポジウム

テーマ「都市と環境」 会場／三浦幸平メモリアルホール

都市の脆弱性

講師…河田恵昭氏
 関西大学 理事・環境都市工学部教授
 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター長

災害に無防備な現代社会

東海豪雨などの写真を紹介しながら、最近頻発する災害は都市の脆弱性が露わになった例であるとの解説から講演をスタートした河田先生。我が国には人口100万以上の政令指定都市が8カ所存在しますが、それらの都市は、自然災害をきっかけに人為災害を引き起こす可能性が非常に高い状態にあると指摘しました。「主な原因は、急激な都市化と不適切な土地利用マネジメント。実際に、名古屋市では伊勢湾台風時の高潮に匹敵する水災害を想定した対策やシミュレーションがなされています。事故や災害は、初期信号を発しているものです。それをキャッチし、早い段階で対策をとることが必要です」と、災害の記憶や自然との接し方を忘れてしまった私たちの生活に警告を発しました。



生物多様性と地球温暖化

講師…黒田大三郎氏
 環境省参与

COP10がめざすもの

アジア太平洋の環境と開発に関するビデオを上映後、来年名古屋市で開催される生物多様性条約第10回締結国会議(COP10)の案内と、日本の生物多様性と私たちの関わりを紹介した黒田氏。人間の生活は生態系の恵みによって支えられていることを前提に、生物多様性の維持をめざした政府の構想を、具体例に解説しました。

世界で一番住みたい街

「持続可能性とコミュニティ」
 講師…ジョン・ギヤスライト
 中部大学 全学共通教育室 教授

自然は私たちを守ってくれる

ギヤスライト先生は、世界中のさまざまなエコな街に関するアイデアを中心に、楽しいトークを展開。「自然が私たちを守ってくれるという感謝をもって、今度は私たちが守っていくんだという情熱を育てていきたい」「エコな活動をする自分がハッピーになると考え、パラダイムを変えていこう」と呼びかけました。

セツシヨン

■ブース形式による ポスターセツシヨン

会場／第1学生ホール
中部大学で展開する研究活動、大型プロジェクトなどをブース形式で紹介しました。



■産業クラスター計画の ご紹介

会場／第1学生ホール
産官学連携を通じて新事業創出をめざす方々に向けて、各プロジェクトをご紹介しました。

■技術相談、知的財産 相談コーナー

会場／第1学生ホール
中部大学専属のコーディネーター名を会場に配置し、皆様からのご相談を承りました。

■「あいち森と緑づくり モデル事業地」見学会

会場／現代教育学部(71号館)裏の傾斜地(里山林)
春日井市の典型的な代償植生をあらわす「あいち森と緑づくりモデル事業地」をご案内しました。



■「超伝導実験施設」 見学会

会場／藤原洋記念 超伝導・持続可能エネルギー研究センター
キャンパス内に設けた直流超伝導ケーブル試験装置をご案内しました。



■健康相談コーナー

会場／第1学生ホール
生命健康科学部が体組成測定・骨密度測定、健康に関するご相談などに応じる人気コーナー。

ミニ講演会

会場／9号館1階 学生自習室

大学連携フードコンソーシアムセンター 中部大学・名古屋大学 連携フードコンソーシアム

講師…野口忠 大学連携フードコンソーシアムセンター
中部高等学術研究所教授
「食に関わる教育のイノベーション」
平成21年度「大学間連携戦略」に採択された、食のプロジェクトに関するプロジェクトについて解説。

工学部 新荷電粒子ビーム源と ナノテク技術開発

講師…石川順三 電子情報工学科教授
負イオン源の開発と、それによって成功したナノテク材料の開発について発表。その応用展開についても紹介。

経営情報学部 企業法務を軽視する 経営トップは会社をダメにする

講師…牧野英克 経営学科教授
企業に求められる法的リスクマネジメントと、その対策としての違法経営の推進について、具体例を挙げながら展開。

応用生物学部 分子シヤペロン誘導剤の 医学への応用

講師…大塚健三 環境生物科学科教授
分子シヤペロンが誘発する免疫応答機能について解説し、医学への応用について4つの観点から検証。

国際関係学部 中堅企業による 中国ビジネスの課題

講師…舛山誠一 中国語中国関係学科教授
日本企業の成長に欠かせない中国進出において、中堅企業がどうあるべきかを国際経営のポイントから考える。

生命健康科学研究所 歩行補助具のいろいろ

講師…沖高司 生命健康科学研究所教授
下肢の支持性欠如、立位の不安定性を補助して歩行を可能にする歩行補助具の形態や使い方について紹介。

人文学部 3DCG構音運動図・ 3D母音図を用いた発音基礎学習

講師…ヤーンコラ伊勢井敏子 英語英米文化学科教授
英語学習において発音の習得は欠かせない基礎であるとし、その上達法と、最新の発音学習法を紹介。

現代教育学部 次世代育成支援と 企業の役割

講師…加藤孝正 幼児教育学科特任教授
政府による少子化問題への取り組みの一端、「仕事と生活の調和(ワークライフ・バランス)憲章」を紹介。

イベントのご案内

Event Information

学校法人中部大学 創立70周年記念行事



学校法人中部大学は、本年で創立70周年を迎えました。
その記念行事として、演奏会・講演会・祝賀パーティーを
開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

記念講演会

日時／2009年11月11日(水)PM1:30(受付開始PM1:00)
会場／三浦幸平メモリアルホール(中部大学春日井キャンパス内)
講師／小林 誠氏(2008年ノーベル物理学賞受賞)
演題／これからの科学と大学(仮題)

祝賀パーティー

日時／2009年11月11日(水)PM3:30～
会場／第1学生ホール(中部大学春日井キャンパス内)

記念演奏会

この公演は終了しました

開催日／2009年8月29日(土)
会場／三井住友海上 しらかわホール

ブリースニッツ氏率いる中部大学管弦楽団の軽快
で繊細な演奏と、楽しいトークに彩られた佐藤しの
ぶ氏の圧倒的な歌唱力に、客席は「ブラボー」の
声と拍手で湧きました。

第一ステージ

ベートーヴェン作曲
交響曲第7番イ短調 作品92
【指揮】ゲルリット・ブリースニッツ
【管弦楽】中部大学管弦楽団



第二ステージ

花の街、さとうきび畑、
オペラ「仮面舞踏会」より
この恐ろしい場所、アヴェ・マリア(アンコール)など
【ソプラノ】佐藤しのぶ
【ピアノ】森島英子

企業経営講演会

ビジネスの第一線で活躍する企業人を講師にお
招きする企業経営講演会。これからの時代を生
き抜くヒントが満載です。ぜひご参加ください。



これまでに開催された企業経営講演会の模様

第11回 企業経営講演会

日時／2009年11月18日(水)PM5:00～PM7:00
会場／中部大学名古屋キャンパス
講師／パナソニック株式会社 中部支店支店長 宮澤俊樹氏
演題／松下幸之助と経営理念

第12回 企業経営講演会

日時／2010年1月27日(水)PM5:00～PM7:00
会場／中部大学名古屋キャンパス
講師／三菱UFJ証券株式会社 チーフエコノミスト 水野和夫氏
演題／未定

中部大学フェア

日時 / 未定

会場 / 中部大学 春日井キャンパス

ご盛況いただいた2009年度の第5回中部大学フェアからさらにパワーアップして、新しい学部学科の研究内容や、研究の進展状況など、新鮮なシーズをご提供する予定です。どうぞご期待ください。



第5回中部大学フェアの様子

キャンパスコンサート

第65回中部大学

キャンパスコンサート

中野里美 ピアノリサイタル

日時 / 2010年3月6日(水) PM2:00(開場PM1:00)

会場 / 中部大学 三浦幸平メモリアルホール

入場料 / 無料、全自由席

プレ・コンサート・レクチャー(開演20分前より)

お話 / 鶴田正道(中部大学教授)

第6回 中部大学音楽祭

日時 / 2009年12月12日(土) PM4:00(開場PM3:15)

会場 / 三井住友海上しらかわホール

入場料 / 一般1,000円 学生500円、全自由席

中部大学の音楽系クラブが演奏を披露するチャリティーコンサート。昨年の入場料売上金やチャリティー募金は、NHK歳末助け合い、中日新聞社会事業団、日本介助犬協会に寄贈されました。

各イベントのお申し込み・お問い合わせは幸友会事務局まで

TEL.0568-51-4740 (直通)

中部大学・ラグビー部

横山隼人さん(経営学科2年)が「U20世界ラグビー選手権」に日本代表として出場。



横山隼人さん(経営学科2年)



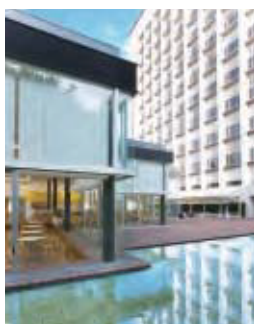
© 2009, JRFU photo by RJP



中部大学ラグビー部

2009年6月、日本国内5会場で開催された「U20世界ラグビー選手権」。その日本代表に、中部大学経営情報学部経営学科2年の横山隼人さんが選ばれました。横山さんは、春日丘高等学校時代からのコーチであるニュージーランド人のアファ・ハニバリ氏のもと、中部大学ラグビー部で厳しい練習に取り組みできました。大会に向けては、強化合宿から参加。イングランド戦、ウルグアイ戦などにHBのポジションで出場しました。日本チームは、名古屋市瑞穂公園ラグビー場での15位決定戦で、ウルグアイチームと対戦。勝利を収めて多くの参加者を沸かせました。

CHUBU UNIVERSITY 2009
TOPICS



そり立つ白亜の50号館とガラス張りが美しい学生ホール。生命健康科学部の学びの拠点です。春日井キャンパスの最北端に位置しています。

幸友会に関するお問い合わせ一覧

[会員数] 法人会員800社 個人会員429人
(平成21年10月1日現在)

○ご入会手続き	▶ 幸友会事務局	0568-51-4740(直通)
○求人に関するご相談	▶ キャリアセンター	0568-51-4184(直通)
○共同研究に関するご相談	▶ 研究支援センター	0568-51-4852(直通)
○中部大学音楽祭・キャンパスコンサート	▶ 渉外部渉外課	0568-51-1111(代表)
○オープンカレッジ	▶ エクステンションセンター	0568-51-4392(直通)
○大学院・大学入試情報	▶ 広報部	☎ 0120-873941

本誌に関するご感想や、幸友会に対するご意見やご希望、ご質問などは、下記のE-mailへお気軽にお寄せください。なおバックナンバーをご希望の方はお問い合わせください。

発行 平成21年10月31日

編集 中部大学幸友会

住所 〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地 中部大学渉外部内
TEL.(0568)51-1111〔代表〕 (0568)51-4740〔直通〕 FAX.(0568)51-1186
ホームページ <http://www.chubu.ac.jp/>〔「企業の皆様」・「地域の皆様」をクリックしてください〕
E-mail kouyukai@office.chubu.ac.jp

本誌「幸友」は、学園創立者である三浦幸平先生の名前にちなんで命名された中部大学幸友会の会報誌です。学術・文化交流を促進する“交友”の意味も込められています。